



町制施行50年／河津町勢要覧

河津、咲く。

KAWAZU  
2008





河津町は、本年でめでたく町制施行五十周年を迎えることができました。

先人たちが築き上げてきたこの町も、五十年という歳月の中で、幾多の苦難を乗り越えながら、海・山・川・温泉の豊かな自然資源に恵まれ、加えて四季折々に彩をなす「花咲く町」として全国的にも知られ、発展をしてまいりました。

半世紀という新たな節目を迎え、河津町はこの町に暮らす人が「安全で幸せな」町へ。

この町に訪れる人が第二の「ふるさと」として、心を癒される町へ。

先人たちより受け継いだ豊かな自然と文化を大切にしながら、町民との協働により魅力あるまちづくりの実現に向けて取り組んで参りたいと考えております。

この町勢要覧をご覧いただき、河津町の発展の助けになれば幸いに存じます。

平成二十年九月

河津町長 櫻井恭次



### A Message from the Town Mayor

This year Kawazu Town happily marked the 50th anniversary of its organization as a town.

This town that was built up by our forefathers has overcome numerous hardships over the span of 50 years, and, blessed with abundant natural resources from the ocean, mountains, rivers, and hot springs, it has become known throughout Japan as a “town in bloom” that is suffused with the colors of each of the four seasons, and has continued to develop.

Upon reaching this new turning point after half a century, Kawazu Town is striving to be a “safe and happy” town for the people that live here, and a town that soothes the soul as a second “hometown” for people that visit us.

We will work to create an appealing town through the cooperation of the townspeople, while cherishing the rich nature and culture that has been handed down to us from our forefathers.

It would be my pleasure if having people view this pamphlet would assist in the development of Kawazu Town.

Taiji Sakurai Mayor



## INDEX.

2. 町長挨拶
4. **50年目の人。**
6. **あなたの河津町は？**
8. 写真と町史でたどる  
河津町の50年。
12. **花・泉・山・海**
14. ●花園河津
16. ●湧泉河津
18. ●山海河津
20. **文学の散歩道。**
24. **河津、咲く。**  
**ようこそ、河津へ。**
26. **心癒されるひと時、  
河津の新しいスポットから。**
28. ●伝統咲き、まつり咲く。
30. ●元気咲き、ぬくもり咲く。
32. ●暮らし咲き、ふれあい咲く。
34. **行政と議会**
35. **DATA2008**
43. 姉妹都市 **白馬村**

災害時相互応援協定締結都市 **東京都渋谷区**

# の50年目

50年前に0歳だった正木町子さん。50年後に50歳になる山田海斗くん。お互い、半世紀を積み重ねた河津町で初めて会った「50年目の人」。同じ河津町で、同じ空の下で、同じ風に吹かれて……。これからたくさんの時間が流れ、さまざまな変化があっても、いつまでもこの町が好きでいる気持ちはずっと同じでしょう。

## 正木町子さん

河津町創立の年に生まれたので、ご両親から記念に「町子」と名付けられたとか。「名前はあまり意識したことないんですが。ここで生まれ、結婚し、子供や家族と一緒に過ごし、もう50年なんだ。という思いですね。海斗くんをだっこしたら、自分もこんなに小さかったんだって、あらためて感慨が湧いてきました」。

## 山田海斗くん

谷津で小さな宿をオープンさせた、若い山田ご夫妻に平成20年3月に生まれた海斗くん。海の仕事もするお父さんから「海と斗うくらいの強い男に」と名付けられました。「自然があふれた土地なので、海や野山で自由に遊び、どんなことにも大きな夢を抱いて育てほしい」。ご両親の夢と期待もふくらみます。







「ここは豊かな自然が魅力。父のような農協勤務もいいな（鳥澤さん）。のどかな地元で、ゆっくり暮らすのが自分に合っています（正木さん）。のんびりしているのが好きなので、ずっと河津にいらかな（三澤さん）。河津に残ってお蕎麦屋さんもいいけど、進学も思案中（進士さん）。」

下田高校サッカー部 手前から  
鳥澤一磨さん 正木俊平さん  
三澤恒樹さん 進士裕太さん



「河津は海も山も川も近くて、どこかしこも素敵。私はここで生まれ、ここで仕事できて、ほんとに幸せです。私の父は、河津町長を経験しています。もう50年もやってきた河津町。これからも、たくさんの人に、落ち着いた河津のよさを伝えていくのも、私の役目かなと思っています」

温泉旅館女将  
岡 弘子さん



## あなたの河津町は？

町制50周年を迎えた河津町。  
ここに住む人にとって、仕事は、生活は、趣味は…。  
町への思いと共に、その本音トークを。



「うちでは、ざっと数えて15～20万鉢の花を栽培してます。毎日、花の相手でしょ、出かけるのもままならない。でも、たまに消防団の集まりで仲間と会って話します。みんな人柄がいいんで、ホント楽しいですね。子ども達に、この仕事、ウーンどうでしょう。継いでほしい気はありますね」

花（鉢物）栽培  
鈴木 博文さん

「町制50周年って、正直知りませんでした。生まれ育って31年、結婚して5年。本当に、のんびりしていい所だと思います。河津桜の時期の賑わいにはびっくりですけど…。子ども達も、のんびり健康に育ってほしい。いつまでも子どもにも安全でやさしく、住みやすい町であってほしいと願っています」

会社員  
飯田勤さん・未和さん  
ご家族



「私は生まれてから、ずっとここ。子どもの頃は、海に行ったり、川で遊んだり…。理容室は、母から継いで私が2代目。お客さんとかかわりも密で、おせっかいなほど人情が厚いところが河津のいい所かな。町制50年、家族のためにも河津が少しずつ暮らしやすくなっていったらうれしいですね」

理容室経営  
末永 晴美さん



「河津でぜひ見ていただきたいのは海岸美。四季折々、波の様子も違い、素晴らしいですよ。河津は伝統を大切にする町で、自然も魅力です。でももっと『文化の底上げ』をしていくことも大切な気がします。この店では、地場産品をもっとたくさんの方に広く紹介していきたいなと思っています」

みやげもの店経営  
朝比奈 富子さん



「河津は観光スポットがいっぱい。マイナスイオンもいっぱい。干物もすごくおいしい！（長崎くん）。僕は少年野球のリーダー。監督からの挨拶をしっかりと指示もみんなに伝えてます（相馬くん）。河津は緑が多い。いつも新鮮な空気が吸えるのがなによりうれしい（岩谷くん）」

河津ジャガーズ少年野球チーム  
左から長崎凜太郎くん  
相馬季浩くん 岩谷光紘くん



「週に1回、絵本読み聞かせ会を行っています。赤ちゃんから2・3歳まであんなに熱心にお話を聞いてくれるなんて。感激です。お母さんたちの集まりの場になっていたり、絵本の貸し出しが増えたり。みんながこの場を楽しんでいます。この輪をもっともっと広げたいですね」

町職員・図書館員  
鈴木 雅孔さん



「ここでの花栽培者は、いろいろ苦労しています。温度管理や咲かせる環境づくりが難しいんですよ。でも、私の栽培した金魚草が幸いにも農林水産大臣賞を受賞しました。うれしいですね。やりがいには充分あるんです。私は次の世代のためにも、新しい技術でまだまだ挑戦していきたいと思っています」

花栽培農家  
鈴木 顕一さん



「町の50年、うーん、実感はないけれど、町並みの風景は変わってきましたね。もちろん、人情とか町のいい所は変わってほしくないけど。もっと若い世代がバリバリ活躍してもいいと思うな。その方がなにかにつけて勢いが出るでしょ。自分も若い頃と意識は変わらないけど頑張らなきゃね」

自動車販売・修理  
鈴木 孝彦さん



「この茶屋は私の実家。河津でいちばん早く茶屋を開いたのが自慢なんです。若い頃、町の代表としてヨーロッパ視察をさせていただいたのもこの町のおかげ。恩返しといったらオーバーですが、観光客の方や、いろんな人に『もてなす心』を忘れずに、私も町も発展できたらいいですね」

茶屋女将  
福司 つや子さん

「私がバスケット部の部長。副部長の佳南とは、毎朝一緒に登校する仲良しです。興味を持って長く楽しくできる仕事をするのが、将来の夢です(植松さん)。高校入試に向けて、勉強も部活も頑張り、教師を目指したい。でも夏休みは、海に行って遊んじゃうかもしれない…(大浦さん)。」

河津中女子バスケット部  
左から大浦佳南さん  
植松みすずさん



「結婚して河津で暮らして25年、早いんですね。河津の最初の印象は「花がいっぱいある所」。今の仕事も毎日花に囲まれて幸せです。そろそろ年頃の娘二人にも町内で結婚して、近くに住んでほしいですね。かわいい孫でもできたら、いっぱい花をみせてあげたくて…」

園芸店従業員  
飯田 みどりさん



「ここ河津はほんとに「水と空気」がきれいです。50周年の町には子どもを育てる大きな「木」のような町になってほしいなと思います。これからも、ますます「河津に来てよかったな」とお客様に喜んでいただけるように。「伊豆」のイメージを大切に世界にアピールしたいですね」

温泉旅館女将  
野沢 美季さん



「町の創立時はまだほんの子どもだったので覚えてないね。小さな頃は川で泳いだり、海でさざえを捕ったりしたもんです。いまでも鮎釣りが楽しみ。鮎釣りの解禁日には必ず行きますよ。娘達家が継いでくれて、孫でも産まれたら、『鮎釣り三昧』の老後を河津川とともに送りたいですね。」

魚店主人  
坪井 利夫さん



写真と町史でたどる河津町の50年。



伊豆急行電車開通(昭和36年)



国民宿舎「かわづ」完成(昭和38年)

集中豪雨に見舞われる(昭和51年)



「滝まつり」始まる(昭和48年)



河津中学校校舎完成(昭和55年)



七滝ループ橋開通(昭和56年)



町営温泉集中管理事業開始(平成元年)



湯ヶ野湯坂「ふるさとの坂道」に選定される(平成2年)



## 【河津町50年の歩み】

|        |       |                                                                                    |
|--------|-------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 西暦1958 | 昭和33年 | 上河津村と下河津村が合併し、河津町が誕生。人口1万0454人、世帯数2054戸。                                           |
| 1961   | 昭和36年 | 伊豆急行開通。                                                                            |
| 1963   | 昭和38年 | 田中に役場新庁舎が落成。<br>国民宿舎「かわづ」落成。                                                       |
| 1965   | 昭和40年 | 「伊豆の踊子」の作者、川端康成氏を迎え湯ヶ野で「伊豆の踊子文学碑」除幕式が行われる。                                         |
| 1966   | 昭和41年 | 初景橋竣工。                                                                             |
| 1967   | 昭和42年 | 国道135号線全線開通。総工費約37億7千万円。<br>広報「かわづ」第1号発行。                                          |
| 1968   | 昭和43年 | 河津町章制定。<br>段間遺跡に新たに住居跡が発見される。                                                      |
| 1969   | 昭和44年 | 見高パイロット事業が開始。                                                                      |
| 1970   | 昭和45年 | 「新天城トンネル有料道路」開通。<br>河津八幡神社三番叟が町文化財に指定される。<br>農業構造改善事業で1億4千万円をかけカーネーション団地「花泉園」が完成。  |
| 1971   | 昭和46年 | 県営パイロット事業で見高入谷にみかん生産団地が完成。                                                         |
| 1972   | 昭和47年 | 林道長久保線完成。                                                                          |
| 1973   | 昭和48年 | 「滝祭り」が始まる。                                                                         |
| 1974   | 昭和49年 | 伊豆半島沖地震発生（M6.9 総被害：死者26人、行方不明4人、全壊98戸、半壊118戸）。<br>大堰浄水場完成。                         |
| 1975   | 昭和50年 | 第1回老人スポーツ大会開催。<br>町の木に「河津桜」、町の花に「花菖蒲」が制定される。                                       |
| 1976   | 昭和51年 | 集中豪雨で町全域に被害。総雨量509ミリ。<br>湯ヶ野山に環境衛生センター（ごみ処理施設）建設。総工費2億1926万円。                      |
| 1977   | 昭和52年 | 初景滝のほとりに「伊豆の踊子像」完成。<br>新・館橋完成。総工費1億3200万円。                                         |
| 1978   | 昭和53年 | 伊豆大島近海地震発生（M7.0）。七滝でバスが押しつぶされ、見高入谷では山津波が発生、住宅が巻き込まれる。被害は町全域に及ぶ。<br>「駅前プラザ」オープン。    |
| 1979   | 昭和54年 | 来の宮橋竣工。<br>新天城道路鍋矢トンネル・高架橋開通。                                                      |
| 1980   | 昭和55年 | 西中学校・南中学校統合、河津中学校発足。<br>河津駅前に曾我兄弟像建立。                                              |
| 1981   | 昭和56年 | 七滝ループ橋開通。<br>天皇陛下が「大噴湯、大そてつ」をご見学。                                                  |
| 1982   | 昭和57年 | 南小学校新校舎が完成。<br>白馬村と姉妹都市提携を結ぶ。                                                      |
| 1983   | 昭和58年 | 西小学校新校舎・体育館が完成。<br>町制施行25周年、商工会設立20周年を記念し、第1回産業まつりを開催。                             |
| 1984   | 昭和59年 | 白馬村を町民204人が民間大使として訪問。<br>B&G河津海洋センターがオープン。                                         |
| 1985   | 昭和60年 | 第1回町づくり講座始まる。<br>端戸山テニスコートがオープン。<br>第1回ミス伊豆の踊り子コンテスト開催。                            |
| 1986   | 昭和61年 | 河津七滝・今井浜海岸「静岡の自然100選」に認定。<br>町長選挙で櫻井泰次氏初当選。<br>国道414号（天城路）「日本の路100選」として選定される。      |
| 1987   | 昭和62年 | 南小学校体育館が完成。<br>白馬村との姉妹都市提携5周年を記念し、併せて長野オリンピック実現を支援するためのリレーマラソンが行われる。               |
| 1988   | 昭和63年 | 河津リゾート株式会社創立。<br>町制施行30周年記念式典を開催。                                                  |
| 1989   | 平成元年  | 東小学校体育館が完成。<br>梨本前之川橋竣工。<br>町営温泉集中管理事業が始まる。                                        |
| 1990   | 平成2年  | 用途地域（都市計画）指定される。<br>湯ヶ野湯坂 ふるさと郷土賞「ふるさとの坂道」に選定される。<br>踊り子歩道 ふるさと郷土賞「街灯のある街角」に選定される。 |



旧下河津村役場



天城トンネル開通（昭和45年）



伊豆大島近海地震の爪痕（昭和53年）



第1回ミス伊豆の踊り子コンテスト行われる（昭和60年）





河津七滝「県みずべ100選」に選ばれる(平成4年)



踊り子温泉会館オープン(平成5年)



保健福祉防災センター完成(平成9年)



かわづ花菖蒲園オープン(平成10年)



「河津バガテル公園」が開園(平成13年)



天城山隧道(旧天城トンネル)が国の重要文化財に指定される(平成13年)



河津桜原木を町指定天然記念物に指定(平成17年)



日帰り入浴施設・伊豆見高入谷高原温泉オープン(平成19年)



|        |       |                                                                                                             |
|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 西暦1991 | 平成 3年 | 伊豆南部の集中豪雨により町内各地で約42億円の被害。<br>温泉集中管理事業が約12億円で完成。<br>「国民宿舎かわづ」山の露天風呂完成。                                      |
| 1992   | 平成 4年 | 「県みずべ100選」に今井浜海岸と河津七滝が選ばれる。<br>温泉スタンド「ほっとステーション」オープン。<br>湯ヶ野自主防災会が県自主防災活動推進大会で県知事褒章受賞。                      |
| 1993   | 平成 5年 | かわづ花の会設立。<br>踊り子温泉会館落成。開館1カ月で利用者1万6千人を超える。<br>サンシップ今井浜落成。                                                   |
| 1994   | 平成 6年 | 国道414号峰山トンネル開通。<br>高齢者保健福祉計画まとまる。<br>重度視覚障害者を対象としたガイドヘルパー派遣事業開始。                                            |
| 1995   | 平成 7年 | 環境庁調査で今井浜海岸がきれいな海全国ベスト7に選ばれる。<br>第1回天城峠コンサート開催。<br>来宮神社祭典で「鳥・酒精進太鼓」初披露。                                     |
| 1996   | 平成 8年 | 広報かわづが県コンクールで優秀賞。全国コンクールに出品される。<br>天皇后両陛下、天城ご視察のため来町される。<br>宗太郎杉と天城の森が「しずおか水を育む森50選」に選ばれる。                  |
| 1997   | 平成 9年 | 保健福祉防災センター完成。<br>デイサービス事業開始。<br>町のインターネットホームページ開設。                                                          |
| 1998   | 平成10年 | かわづ花菖蒲園オープン、入園者最終には2万人を超える。<br>佐ヶ野川親水公園竣工。<br>第1回健康ふれあいまつり開催。                                               |
| 1999   | 平成11年 | 日本さくらの会「百万本植樹運動」で河津桜記念植樹式が行われる。<br>川端康成生誕百年記念事業。<br>春ノ蔵公園整備事業着工。                                            |
| 2000   | 平成12年 | 「第10回河津桜まつり」に125万人が訪れ伊豆を代表するイベントになり、しずおか観光大賞受賞。<br>第3次総合計画「自然が映える ほっとなまち河津」策定。<br>鉢の山316万㎡を自然環境保全と活性化のため取得。 |
| 2001   | 平成13年 | きれいな町づくり条例制定<br>河津バガテル公園が開園。<br>天城山隧道(旧天城トンネル)が国の重要文化財に指定される。                                               |
| 2002   | 平成14年 | エコリンセンター東河稼動・ごみ分別収集開始。<br>パリ市と河津バガテル公園友好技術支援協定締結。                                                           |
| 2003   | 平成15年 | 白馬村姉妹都市提携20周年・白馬村民来町。<br>待望の図書館を備えた「文化の家」落成。<br>河津町新庁舎落成。<br>町制45周年・河津桜生誕50年記念式典。                           |
| 2004   | 平成16年 | 東京都渋谷区と災害時相互応援協定を締結。                                                                                        |
| 2005   | 平成17年 | 河津桜原木を町指定天然記念物に指定。<br>第15回河津桜まつり来遊者が7年連続百万人を超える。<br>パリ・バガテル公園百周年記念式典で河津バガテル公園の5周年記念花を「クイーンバガテル」と命名、披露。      |
| 2006   | 平成18年 | 県市町村合併構想で南伊豆地区(下田市・賀茂郡)が合併構想の対象市町となる。<br>3幼稚園を統合した「町立さくら幼稚園」が開園。<br>櫻井泰次町長が6期目当選。                           |
| 2007   | 平成19年 | 河津バガテル公園開園6年目で入園者数百万人を超える。<br>日帰り入浴施設・見高入谷高原温泉オープン。<br>地方自治法施行60周年記念で河津町が地方自治功労団体で表彰される。                    |



今井浜「県みずべ100選」に選ばれる(平成4年)



今井荘で王将戦行われる(平成6年)



佐ヶ野川親水公園整備される(平成10年)



図書館を備えた「文化の家」落成(平成15年)





河津町の魅力を語る、花・泉・山・海のポイント。  
豊かな自然と、ここに暮らす人々が  
織り成す「河津らしい」表情をご覧ください。

# 花

花あふれ、やさしい香りに癒される町、河津町。早春の河津桜を始め、四季折々の花の彩りと甘い香りがあふれています。温暖なこの地ならではの、心やすらぐ花とのふれあい。花咲く町で味わってください。



泉湧き、あたたかな温もりに満ちた町、河津町。ここは7つの風情ある温泉郷を抱える「湯の里」。そして、天城山系からの清らかな水に恵まれた地。じっくりその湯につかれば、心も体もゆったりほぐれます。







海迫り、豊かな恵みが息づく町、河津町。夏は、子どもたちの歓声でにぎわう、波穏やかなその海は、また私たちに豊富な資源をもたらしてくれる母なる海です。そよぐ潮風に吹かれ、その景色に溶け込みませんか。

# 海



山巡り、美しき自然に抱かれる町、河津町。天城の深い森、ワサビ田、山染める紅葉。山の魅力もこの地の誇りのひとつです。鉢の山セラーピーロードの整備も進み、体験型観光の楽しみもますます広がっています。





腰に剪定鋏を下げた姿は、まるでガンマン。でも二人とも心優しき花と木の守り人。「木は何も言わない。だから木の顔を見て、声を聴き、手をかける」山本さん。「このバラ園と山、一体の風景を見てほしい。訪れたカップルが結婚し、お子様連れでまた訪れてほしい」小川さん。広大な公園の隅々に目を配る、充実した毎日です。

河津バガテル公園の花木を守る

小川 香奈子さん・山本 健生さん

# 花園 河津

山からおりた無数のメジロが、桜の蜜を吸っては、啼く。飯田さん宅の庭先で堂々たる姿を見せる一本の桜。「鳥も町の人、観光の人、この原木を楽しんで」。先代が偶然見つけたこの木の子孫が、いま町に8000本。「こんなにたくさんの人に愛されて、ほんとにありがたいことです」。桜への深い愛情も、咲き誇っています。

河津桜の原木を守る

飯田 典延さんご家族

町指定天然記念物  
「河津桜原木」





河津バガテル公園

河津町の小高い丘に5ヘクタールの広大な敷地を擁するバガテル公園。バガテルとは、フランス語で「小さな愛らしいもの」という意味。フランス、パリのバガテル公園の姉妹園として、平成13年に開園しました。

「バレイリーナ」など優雅な名を持つ貴重なバラ約1100種、約6000本を一堂に鑑賞できます。見頃のシーズンは、4月から11月にかけて。高貴な香りで園内が満たされます。また、園内にはマリ・アントワネットゆかりの田舎風レストランや、ベルサイユ宮殿を模した売店などもあり、本場パリの雰囲気を楽しめます。小さなバラや愛らしい景色と

## 町を彩るのは、花の色。 花を慈しむ心も、いつも満開です。

のふれあいをどうぞお楽しみください。



河津桜の原木

桜は、春の花。ところが、河津桜はまだ冬の1月下旬からつぼみをほころびはじめ、3月初旬まで濃いピンクの花を咲かせます。

河津川沿いの桜並木



昭和30年頃、飯田勝美さんによつて偶然発見された緋寒桜と大島桜の自然交配種が原木。その後、二代目、三代目と有志の手によつて川沿いに植樹がすすみ、いまでは町の人口とほぼ同じ数の桜の木が植えられています。



河津桜まつり



(上) キンギョソウ (下) バラ

河津桜と同じように早咲きで有名なのが、花菖蒲。温泉を利用して、早咲き栽培をすすめたのがその始まり。いまでは町の花に制定され、町営「かわづ花菖蒲園」では5月上旬から色とりどりの優雅な咲き姿をみせてくれます。

温暖な気候を生かした、河津町の花き栽培。県下一の出荷量を誇るカーネーション、人気の金魚草など、町の農産出荷量の1/3ほどを花き栽培が占めています。「花咲く町」と呼ばれるのも納得いただけるでしょう。



(上) カーネーション (下) 花菖蒲





高く噴き上がった温泉。歓声が上がる。正木さんの顔もほころぶ。「温泉って、生き物ですよ。季節や日により、機嫌が違う。ホントのところは、わからない」といって笑う。ここでは、毎分1000リットルの源泉を旅館、家庭に供給。「心からの癒しを感じてほしい」。温泉のようにあたたかな顔でまた笑った。

峰噴湯の管理人  
正木 孝志さん

# 湧泉河津



「伊豆はどこをとっても「絵」になる。風景の画廊だと川端康成も表現しています」土屋さんの静かな口調が山に溶け込む。天城の山が水を貯え、豊富な流れとなって七滝をつくる。「魅力は尽きない、私は周辺環境の案内役として新しいツーリズムを追求していきます」。大切な山を水を守り育てる一人です。

天城七滝を知り尽くしたガイド  
土屋光示さん





初景滝

水にまつわる、河津町の魅力といえは、何といつても温泉。「温泉を活かした日本の町づくり」をめざす河津町は、七滝温泉、大滝温泉、湯ヶ野温泉、峰温泉、谷津温泉、河津浜温泉、今井浜温泉の7つのそれぞれ特徴ある温泉郷を抱えています。伝説をひも解けば、奈良時代に行者が温泉を開いたとも言われますが、峰温泉が開かれたのは大正15年。ここに住む稲葉時太郎が田んぼの水があたたかいのに気づいたのが始まり。私財を投げ打って、4年掛かりで掘りあてました。「峰の大噴湯では、木のやぐらをはるかに越える高さ約30メートルまで、

## ここは、豊かな水の里。清流と温泉が、心をきれいに洗います。



蛇滝



大滝を望む露天風呂

ふるさとの温もりを感じる叙情深い温泉、自然の景観を生かした趣きある露天温泉、家族が楽しめるリゾート感いっぱいの温泉、そして誰もが心癒される日帰り温泉。多彩な温泉を味わえるのも、河津温泉郷ならではの、ゆっくり、ゆったり湯舟につかり、心とカラダをリラックスさせませんか。

約100度の源泉を噴き上げるのを見てとれます。」地球のエネルギーと時太郎の思いの強さを感じていただけるでしょう。



踊り子温泉会館の露天風呂



峰大噴湯

が連なり、その下流は鮎が群れ、ズガニの遊ぶ河津川となつてゆるやかに流れていきます。天城山系に端を発する清水は、山を潤

し、動植物を育て、ここに住む人の生活に大きな恵みをもたらしています。



山からの清冽な水の流れる田のなかに、無数のわさび。「年間、どれほど出荷してるのか。数えたことないな」と稲葉さん。3代続くわさび栽培、自身はここ10年ほどの取り組みだとか。「まわりの農家の皆さんに教えてもらって。ホントに感謝です」。わさびの魅力は辛さではなく“香り”だと、言い切りました。

わさび田農家  
稲葉競さん 由美子さん

# 山海河津

「息子?よくやってるよ」と1代目の貞夫さん。「とても、まだまだ。親父にたちうちできません」と2代目の行久さん。共同で漁を始めて20年。「海が好き、魚が好きじゃないと、この仕事はできない」ことは同意見です。「経験がものを言う、度胸もいる」。若手育成でも評判の、逞しい海のプロです。

漁師  
飯田 貞夫さん 行久さん





河津浜より伊豆大島を望む

波のむこうに、遠く大島も望む河津の海。素晴らしい景色とたくさん恵みをもたらすこの海は、さらに多彩な魅力をたたえる豊穡の海としても知られます。夏シーズンには今井浜、河津浜の海水浴場には、朝早くから家族つれのにぎやかな歓声があふれます。今井浜ではサーファーに格好の波を、南のダイビングパーク菖蒲沢ではありのままの海の姿をダイバーに提供してくれます。そうした、観光・体験型のレジャーはもとより、この海は、古くから暮らしに根ざした資源の宝庫でもありました。定置網による漁業では、年間を通じアジ、サバを中心に漁獲。波おだやかな日の早朝、見高

## 恵みの海となごみの山。心を開放する、生き生きとした自然です。



宗太郎杉並木

森を歩けば、季節によりアマギシヤクナゲやアマギツツジの可憐な花に出会える。新緑の春も美しく、山が紅色と黄色に染まる秋



漁港風景

や谷津などの漁港では、帰港した漁船からのあわただしい水揚げ風景を見てとれるでしょう。観光に、海洋産業に、うつつけの条件を満たす海。河津を訪れたら、ぜひ、その一端にふれてください。



もまた見事です。自然のままの景観をみせる天城の山は、ハイキング愛好家にも愛される爽快感いっぱいの体感ロード。いくつも用意されたハイキングコースやセラピーロードの認定を受けた「鉢の山セラピーロード」で、心地よい森林浴と深呼吸を。



天城の森が貯えた水は、清冽な流れとなって山を走り、河津川へ。河津町を語る上で欠かせない、清水に磨かれた香り高い名産わさびや解禁日には川に釣り人があふれる鮎も、偉大なこの山の恵みの一部と呼べるでしょう。



河津川の鮎釣り風景







# 文学の散歩道。





道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと  
思う頃、雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい  
早さで麓から私を追ってきた。  
私は二十歳、高等学校の制帽をかぶり、紺飛白の着物に  
袴をはき、学生カバンを肩にかけていた。  
……暗いトンネルに入ると、冷たい雫がぼたぼた落ち  
ていた。南伊豆への出口が前方に小さく明るんでいた。

川端康成(1899~1972)「伊豆の踊子」より抜粋

Kawazu is an art gallery of the scenery.  
Kawazu-cho has been described by many of Japan's  
leading literary figures, including Yasunari Kawabata,  
Toson Shimazaki, and Yasushi Inoue.



# 文学の散歩道

伊豆は風景の画廊である。川端康成はこの地をそう言い表わしました。深い森が、豊かな水音が、そして、あたたかな人情が五感を包み込む。幾多の作家の心を刺激し、名作に描かれた河津。その真髄にふれる散歩を愉しんでください。

最後にとうとう谿が姿をあらわした。杉の秀が細胞のように密生している遙かな谿！何かには音も聞こえない水も動かない滝が小さく小さく懸かっていた。

梶井基次郎(1901～1932)「冬の蠅」より抜粋

「伊豆の踊子」にも描かれた天城山隧道(旧天城トンネル)は明治37年完成。石作りのトンネルとしては、国内最長(445.5メートル)を誇ります。まだ一高生だった川端康成が天城を旅して、ここを訪れたのは大正7年のこと。



陽が雲に隠れると風が冷たかったが、しばらく歩いて、バスの通る街道から谷へ降り、森の中の小径を、天野が、かねて調べておいた旧下田街道へ向かって、森林の杉の落葉が重く積もった小径をたどり、溪流に沿った小さな草原に出ると、二人は弁当を開いた。

池波正太郎(1923～1990)「天城峠」より抜粋

河津川は一見平凡な様相でありながら、鮎をねらう釣師にはかなり魅力のある川である。しかし伊豆の人は、河津川筋の人でも狩野川筋の人でも、釣の技術にすぐれている。私は土地の子供と川に並んで釣っていても、ときどき恥かしい思いをさせられることがある。

井伏鱒二(1898～1993)「河津川筋」より抜粋

その天城越えの道を、バスで一分ぐらい行つた所に谷津という温泉があるが、私ははじめ、ここに長期滞在して仕事をしたものだ。山ふところになつと入り込んだ所で、中略閑静で、たいへんいい所だった。

谷津へ二年ぐらい通つたろうか。三年目からは、谷津の少し手前の今井浜に行くようになった。中略今井の浜の白砂青松の眺めに憧れたのかも知れない。

石坂洋次郎(1900～1968)「奥伊豆参り」より抜粋





天城嶺の森を深みかうす暗く

降りつよむ雪の積みど音せぬ

若山牧水(1885~1928)「雪の天城越え」

湯ヶ野で行きあたりばったりの宿に入った。私の服装は、粗末な、しかし安い部屋に通されることに役立った。晩めしにお銚子を注文すると、断られた。この一週間はキノミヤ(来宮か)さんの忌日で、このあたり河津村の宿屋では、一さい酒を出さないときたりだという。

深田久弥(1903~1971)「わが愛する山々」より抜粋



天城の裾が低い二つの尾根となつて、なだらかに南に伸びて居る間を、溪流が細々と流れて居る、其の流れに沿つた其処はささやかな温泉場なのです。天城の隧道を南に抜けると、やがて下田街道に沿って、蜜柑のよく実った細長い小さな村―その村の通りから折れて竹の茂った谷川の方へ五六歩下りると、もう其処は、水に臨んで、「内湯」と軒燈を出した三軒の温泉宿になつて居るのです。

中島敦(1909~1942)

「蕨竹・老人」より抜粋



海岸の眺望はいかにも美かった。西風が吹くと海上の靄は吹き払はれ、沖の島々がはつきりと見える。大島は近く、利島は遠い。その間に鵜渡根島といふ小さい三角の島が見える。南には七子のささやかな突端のむかうに、おなじ万蔵山が海中に深く下ろした根の一方である堺の岬があり、そのかなた、谷津の竜宮と呼ばれる岬と爪木崎がたたなり、夜になるとその南端に廻転式灯台の明かりが見えた。

三島由紀夫(1925~1970)「真夏の死」より抜粋

昭和十四年頃の河津川は遠来の鮎つりの客はまだ少なかった。鮎も豊富であった。最初のときなど太宰と私は、釣るのがめんどろくさくなって、子供の使ふたもで岩の上からかがんですくったものである。三四寸の小さいやつならいくらでもすくひ上げられた。今から思ふと、嘘のやうな話である。

亀井勝一郎(1907~1966)

「鮎つり」より抜粋





ようこそ、河津へ。

旧天城トンネル



# 河津咲く。

天城山系からの清らかな水は、幾多の滝に磨かれ、田畑を潤し、両岸に桜の木々を従え、やがて海へと注ぐ。この河津川を中心にした環境で、河津町は発展してきました。山が迫り、温泉が湧き、海が開けている。天城トンネルが、ループ橋が、河津桜が観る人を癒す。山の幸にも、海の幸にも恵まれ、花と緑があふれている。河津を表わす言葉はたくさんあります。その一つひとつが、自然と文化とふれあいを心に咲かせる河津町の魅力を語っています。



河津七滝ループ橋



かわづ花菖蒲園



わさび田



伊豆見高入谷高原温泉



かわづカーネーション見本園





河津七滝



踊り子温泉会館



駅前の幹線道路



河津バガテル公園



国道135号線



A lot of nature and cultures

The Kawazu-cho is given to farm products and seafood, and the flower and green overflow.



### 森林セラピーの森を歩く。 伊豆元気わくわくの森公園



山田重吉さん

「この鉢の山は、30万坪あります。子どもの頃、よく遊んでいました。山頂には、貴重な石仏も残っているんです。皆さんに、この自然とこの文化的な遺産を楽しんでいただきたいですね」



家族みんなが楽しめる森林公園として整備が進んでいた河津町のほぼ中心に位置する、鉢の山一帯。桜の丘や森の小道、広葉樹の森、山頂広場を備えた「伊豆元気わくわくの森」とネーミングされ平成20年6月に本格オープンしました。その山頂へと至る1.6キロのメインの歩道が「森林セラピーロード」。全国に広がる「癒しの道」のひとつとして、平成19年に林野庁関連の機関から認定を受けています。心を解放する心地よい道を、わくわく歩いてみませんか。



森林セラピーとは、森林を利用した活動を通して、健康の増進や、病気の予防・治療・リハビリを行うこと。森の自然がおりなす景色や香りにふれることで、森のもつ「癒し効果」を充分に活用しようというものです。鉢の山では、家族や友人同士がゆったり歩ける広い道を整備。密集する檜の香りや、森に響く鳥の啼き声を楽しみながら、自分のペースで山頂を目指せます。山頂付近からは伊豆七島や天城連山が一望。標高619メートル、第1駐車場から約1時間の道のりです。

森林セラピーの推進は、それぞれの地域が独自のサービスを訪れた人に提供する「保養地としてのサービスのブランド化」を進めていくものです。これからも、森林ガイドの養成・組織化や施設の充実など長い目で見た上質化を図っていくことが大切です。「森林セラピーの町」としての河津町も新しい一歩を歩き始めました。



# 心癒されるひと時、河津の新しいスポット

ふるさとの良さを見直す。ふるさとの良さをアピールする。

そんな「ふるさと開花計画」が新しいプロジェクトとして実を結びました。河津町の新しい時代に向けて「癒し」をテーマにした2つのスポットでゆっくりと心を休める、豊かな時間をどうぞ。

Two spots have been completed under the theme of “healing” with a view toward a new era for Kawazu Town. These are the ravine hot spring Izu Midaka Iriya Onsen and Forest Therapy Road which will set your soul free. These facilities provide local people and tourists with a precious opportunity to give their minds a rest in a leisurely manner.

## 山麓の癒し湯へようこそ。 伊豆見高入谷高原温泉



国道135号線から車で5分、緑濃い森林に抱かれた日帰り温泉「伊豆見高入谷高原温泉」。源泉と静かな周辺環境を生かし、この地区の活性化と新たな観光の拠点として、平成19年6月にオープンしました。まるでふるさとに帰ってきたような感覚が味わえる懐かしい、くつろぎの湯です。



落ち着いた雰囲気風呂につかれば、目の前は、一面の森林空間。泉質は、アルカリ性単純温泉。神経痛・関節痛・疲労回復に効果があります。小規模ではあるが、アットホームなたたかさがいい。観光に訪れた人と地元の人とのふれあひも、楽しみの一つです。



森に溶け込んだ佇まいは、秘湯の趣き。玄関前では大きなひめしゃらの木が、お客様をお迎えします。男女別の浴室のある浴室棟と厨房・和室の休憩室を備えた休憩棟。休憩室では、飲物や簡単な食事を楽しめ、入浴後の時間をゆったり過ごしていただけます。また、手づくりのマーマレードや麦まんじゅうも、たいへん人気を集めています。



伊豆見高入谷高原温泉  
TEL.0558-32-3556  
営業時間:午前10時～午後9時  
休館日:毎週木曜日  
利用料金:大人500円・  
子供250円



ようこそ、河津へ。

## 伝統咲き、まつり咲く。

縄文時代の遺跡後から、ここで豊かな人の営みがあったことが知られる、河津町。いにしえの時代から続く伝統の芸能やまつりも、また数多く受け継がれています。ようこそ、心あたたまる行事咲く河津へ。

### ◆河津桜まつり

正月を迎えると、河津の町では、早くも桜の話題が人々の口の端に上がります。

2月上旬から約1ヶ月間、大きめのピンクの花を咲かせる「河津桜」はまさに河津の誇り。河津川沿い4キロに及ぶお花見ハイキングロードは、この桜まつりの時期だけで、全国からの



河津川沿いの約4キロの両岸に植えられた河津桜。おだやかな河津川の表情ともよく合っています。例年2月初旬の「河津桜まつり」の時期は、早咲の桜を愛で、100万人の観光客が訪れます。遊歩道から手の届くほどの近くで桜を見られ、たいへんに賑わいます。

### ◆河津浜・天王神社祭典

正徳3年(1713)創建の天王神社。7月中旬の「天王さん」の夏祭りは、土地に代々伝わるお役番と厄年の若衆を中心に執り行われます。ホラ貝を先頭に、神輿や山車、お神楽で氏子廻りをします。

また、河津浜では神輿もろとも海に入る豪快で勇壮な姿を観ることが出来ます。



オープニングセレモニー

100万人を超える訪問者で沸き返ります。  
夜桜ライトアップや無料の足湯サービスなど訪れたひとにも好評のイベントも年々盛んになっています。

### ◆大銅・子守神社秋の祭典

子守(ねのかみ)神社は天正12年(1584)創建。安産・子宝の神として知られます。

毎年、10月15日の秋祭りには約290年ほど前から伝わるお神楽が保存会によって奉納されます。奉納舞と道化舞それぞれのお面をつけて大地を強く踏んで邪気を払う、力強い舞が特徴。県の「無形民俗文化財」に指定されています。



河津浜夏祭り  
(浜の天王さま)







### ◆見高神社三番叟

見高神社は天平5年(733)創建。

毎年、秋の大祭に伝統芸能として上演される「三番叟」は町の伝承にちなんだもの。江戸時代、見高村出身の名歌舞伎役者「四代目市川小団次」を訪れた村の青年達がこの三番叟の指導を受け、村に帰り、さつそく演じたのが始まりとされます。また、廻り舞台の神楽殿も貴重な文化財となっています。



見高神社の三番叟



### ◆天城路もみじまつり

赤や黄色の葉で全山が染まる紅葉の季節。

天城路が最も美しく輝く毎年11月1日から開催されるもみじまつり。オーブニングでは、踊り子も参加。多くの文豪が愛した天城の魅力を紹介。旧天城トンネルでは、提灯の無料貸出を行い、トンネルを歩いて往時を味わう体験イベントも開催します。



天城路もみじまつり



### ◆湯ヶ野温泉踊子まつり

3月上旬、小説「伊豆の踊子」ゆかりの地、湯ヶ野温泉で行われる踊子まつり。

小説の舞台になった温泉宿「福田家」の横にある、「伊豆の踊子」文学碑に、踊り子と学生に扮装した地元若者が献花。参加者に、甘酒等をふるまいます。

### ◆来宮神社の大楠

まつられる神様は「木の神・火の神」。毎年、暮れには信者の「鳥精進・

来宮神社の大楠



酒精進」の愛鳥・禁酒の週間があり、怠るとよく火事が起こるとの伝承があります。境内の大楠は、樹齢約1000年の、国の天然記念物。この楠から、この神社の創建の古さがうかがえます。

### ◆涅槃堂の寝釈迦像

寛永年間に建てられた涅槃堂には、全身を金箔で被われた寝釈迦像がまつられています。

寛政8年(1796)頃の作といわれ、全長約240センチ、檜材の一本造りで、像の背後には阿弥陀三尊を中心に24体の仏様がならんでおられます。目にするだけで、敬けんな気持ち広がってきます。



「生まれてきたからにはあの世へ行く。人間は何で死ぬんですかと聞かれて、生まれてきたからです。」和尚さんの講話から。



ようこそ、河津へ。

元気咲き、ぬくもり咲く。

「みんながいきいきと活躍できる、ぬくもりの町」をめざす河津町。そのために、保健福祉サービスや文化施設の充実を計り、さらに成長する環境づくりをすすめています。ようこそ、心のびのびと元気咲く河津へ。

なごやかなデイサービス風景



### ◆いきいきデイサービス

いつまでも、地域で長く自立した生活を送るために。生きがい発見、体力づくり、仲間づくりなどを目的にした福祉サービスの一つが「いきいきデイサービス」。

町役場に併設した「保健福祉センター」で、高齢者を対象に、送迎、入浴などの各種サービスを実施しています。

「いきいき介護予防教室」風景



### ◆いきいき介護予防教室

昼間一人になるなど、外出の少ない人にも充実した二日を楽しんでいただくデイサービス。集居室にもぎやかな会話といきいきとした笑顔が弾みます。

「高齢者いきいきセンター」で行っている「いきいき介護予防教室」は、3日間／6日間コースを設定。各日約2時間で、介護を予防するための講話などを始め、健康チェック、健脚度チェック、転倒予防やバランス訓練などのストレッチ、レクリエーションなどを実施しています。介護を予防して自立した生活をめざす高齢者の大きな支えとして役立っています。

乳幼児読み聞かせ会会場風景  
乳幼児達は真剣に聞き入っています



### ◆乳幼児読み聞かせ会

毎週木曜日の朝10時、赤ちゃんや幼児を連れとお母さんや家族の方が続々文化の家に集まります。

みんなが座って、絵本の読み聞かせ会の始まりです。図書館員とボランティアの方が一緒になって運営するこの会は「はらぺこあおむしの会」として、平成18年5月にスタート。絵本にじつと見入ったり、手遊びのリズムに身体を動かしたり…。





やさしい語りかけは、子どもの想像力を育て、心を豊かに満たすと言われています。部屋にあふれるみんなの楽しい笑顔が、なによりその意義を物語っています。

### ◆学校給食センター整備事業

肥満や生活習慣病の増加、食品の安全性や食糧の需給など、食に対する関心の高まりとともに、食育の推進と学校給食の重要性が増しています。

河津町学校給食センターでは、地元農家の協力を得て地場野菜を使った「ふるさと給食」を取り入れるなど食育に取り組みとともに、徹底した衛生管理のもと、町内の幼稚園、小・中学校へ給食を配膳しています。

平成21年度には、オール電化で調理能力1日900食の新しい学校給食センターから、さらにおいしい給食を届けます。

よく学び、よく遊び、よく食べて、元気な「かわつこ」に。



平成19年から始まった地場給食の調理

### ◆特定健診・特定保健指導

心筋梗塞や脳卒中の原因ともなる、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）。

血圧を測定する保健師



平成20年から、これまで町が行ってきた基本健康検査は、この「メタボ」に着目した特定健診へと変わりました。

40歳から74歳のすべての方を対象に、国民健康保険や健康保険など、加入保険ごとの受診となっています。

平成19年に、町で行った基本健康検査のデータでは、メタボ該当者は男性で約27%、女性で約10%。

また全国平均より低い数字ですが、これからの時代は油断はできません。「メタボ」の該当者やその予備群の人にはさまざまな「特定保健指導」で、生活の改善をサポートしていきます。

### ◆文化の家

「心豊かでチャレンジ精神旺盛な人づくり」の拠点として、平成15年河津町立文化の家が開館しました。

町内産の木材を使った落ち着いた空間の中、天窓からはいつもやさしい外光が降り注いでいます。併設の図書館では、24,000冊を超える蔵

図書館も兼ね備えた「文化の家」



書を始めDVDソフトやパソコンも用意。また、床暖房を設備した乳幼児の読み聞かせコーナーや本検索用のタッチパネルも設置。さらに、スクリーン完備の生涯学習室はさまざまな研修会などに利用されています。子どもからお年寄りまで、気軽に利用できる、まさに出会いと学習の場となっています。





ようこそ、河津へ。

暮らし、ふれあい咲く。

一人ひとりの暮らしづくり・健康づくりを積み重ねてできる、魅力あふれる町づくり。河津町では地域福祉や環境整備の充実も、年々多彩にすすめられています。ようこそ、心すこやかに幸せ咲く河津へ。

各種健診を推進しています。(10カ月児健診)



### ◆乳幼児健診

急速に進む少子化の時代に向けて、地域社会で総合的に子どもたちを育てる環境づくりもまた急務となっています。河津町では、3歳までの乳幼児健診の無料実施や6歳までの保険対象医療費を無償にするなど、乳幼児の健康医療に積極的に取り組んでいます。

また、子育てに関する情報の提供や、保育ママ制度など、地域の福祉力や施設を柔軟に活用することで、子育て支援の体制を強化しています。

町営マイクロバスは大活躍



### ◆町営マイクロバス運行

地域の便利な“足”として親しまれている町営マイクロバス。逆川から河津駅と西小学校を結ぶ路線で、1日13便運行しています。バスが到着すると、元気な小学児童を中心に、登下校の中・高生徒、病院へ通院の方や買い物にお出かけの方などが乗り込んでいきます。低料金で利用できるのもうれしいポイントです。

さらに、町全体で交通事故防止・減少を図るために、交通安全教室の開催や横断歩道・信号機の設置など安全環境の整備にも取り組んでいます。

校長先生自ら登校生をサポート



### ◆地域防災訓練

「備えあれば、憂いなし」の言葉通り、大きな災害が起きた時こそ、普段の心構えが大いにものをいいます。幾度の災害を経験した河津町では「地域は自分たちで守る」の意識も高く、地域防災訓練では自主防災会が中心になって、本番さながらの訓練を繰り返しています。また、災害時の拠点となる公共施設の耐震性向上や物資の緊急輸送のヘリポートや港の整備なども進めています。

いざという時にも安心できる町づくりはみんなの力を結集して、前進しています。





道路環境美化のため、道路ぞいの花壇の手入れをするかわづ花の会のひとつ、「下佐ヶ野花の会」のメンバー。毎年花壇コンクールもあります。



地区ごとにごみ拾いや草刈りなどを行い、清掃作業が終わったあとは、本当にすがすがしくすっきりとした景色となりました。

## ◆環境美化の日

以前から行われていた町内一斉清掃が「河津町きれいな町づくり条例」の制定で明確化されました。年一日、5月の最終日曜日に地区ごとに町民参加で、ごみ拾いや草刈り、側溝さらいなどに精を出します。また、河津川漁協組合員が河津川沿いのごみ収集にもあたります。平成18年度の実績では、2000人以上が参加。ごみ類が約4トン、空き缶がなんと約7万个収集されました。美しい町は、自らの手で守ろう。という気運は、ますます高まっています。

## ◆シルバー人材センター 奉仕作業

高齢者の方の豊富な知識と経験がさまざまな分野で活用されているシルバー人材センター。  
河津町では100名弱の方が、会員として登録、多彩な職務に就いていますが、日頃のお礼として公園の草刈作業や剪定作業などの奉仕作業にも汗を流しています。チェーンソーや草刈機など、高度な安全性が求められる作業については、そのつど安全講習会を行った後に実施。しっかりとした経験がキラリと光る、まさにいぶし銀の活動が広がっています。



公園の草刈や剪定の奉仕作業を行う河津町シルバー人材センターの会員のみなさん。

## ◆河津ふれあいまつり

平成19年からそれまで別開催だった「健康ふれあいまつり」と「物産市」が同時開催となりました。みんなの健康と福祉、さらには町の産業発展をもテーマにした大規模なまつりとしてスタート。健康チェックを始め、物産品の販売コーナーや各種体験コーナーなど多彩なイベントを会場いっばいに展開。観光客の方とのふれあいの場としてはもちろん、なにより町民同士の楽しいコミュニケーションの場となっています。



農産物など地場産品の販売や、姉妹都市白馬村からりんごやそばの販売、商工会の商品半額交換市、福祉団体のバザーなどが出店されます。







櫻井 泰次町長(右)  
岸 重宏副町長(左)

河津町は「自然が映えるほとなまち」を目指し、町民と行政が協働による町づくりを展開しています。何よりも誇れる豊富な自然と歴史や伝統をもとに、活発な交流が生まれる活力のある町へ、行財政改革を推進し効率的・計画的な行政運営を進めていきます。

河津町議会は、町民の代表である12名の議員で構成され、定例会4回と必要に応じて開催される臨時会とがあります。議会は、町民の意見を行政に反映させるとともに、行政のチェック機関としてあらゆる面で開かれた議会運営を目指しています。

## Government and Diet

The townspeople and government cooperate to expand town building with the aim of making Kawazu Town a “hot town where nature flourishes.” Our abundant nature, history, and tradition are what we pride ourselves on above all else. Based upon these, we will advance administrative and fiscal reforms and promote efficient, systematic government administration in striving to be a vibrant town which gives rise to vigorous exchange.

The Kawazu Town Council is comprised of 12 members who represent the townspeople. Regular sessions are held quarterly, with extraordinary sessions held as needed. The Council reflects the opinions of the townspeople into government and aspires to operate the Council in a manner that is open in all regards as a regulatory agency for the government.

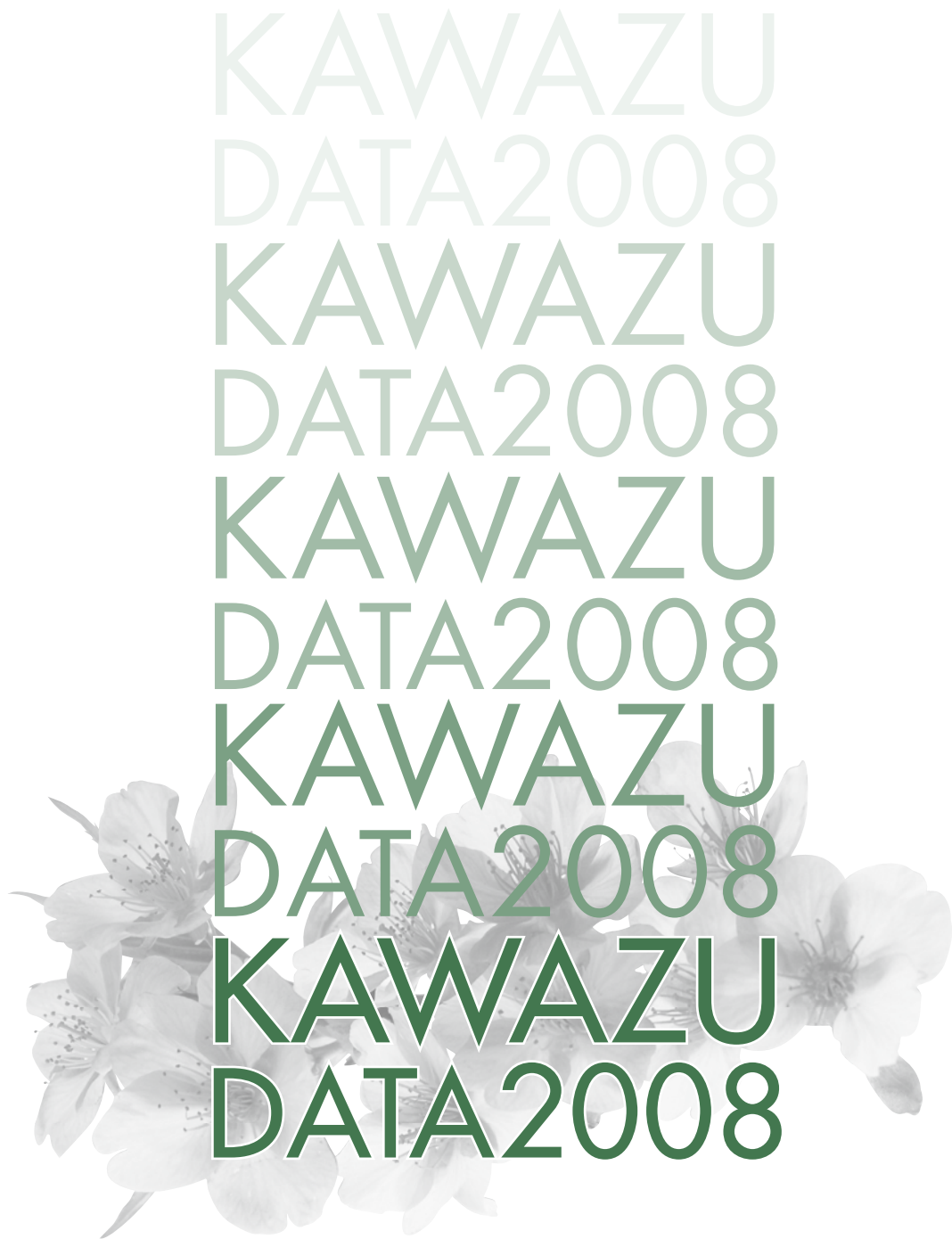


中村 聡議長(左) 宮崎 啓次副議長(右)



河津町議会議員





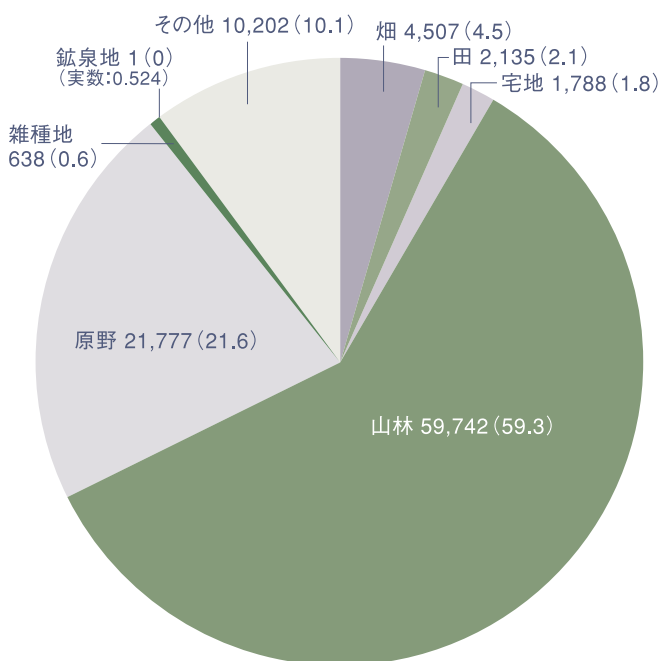
|                |    |
|----------------|----|
| 地勢・自然・人口 ..... | 36 |
| 生活環境 .....     | 37 |
| 産 業 .....      | 38 |
| 教育・文化 .....    | 40 |
| 福祉・保健 .....    | 41 |
| 行 財 政 .....    | 42 |



## ● 位置



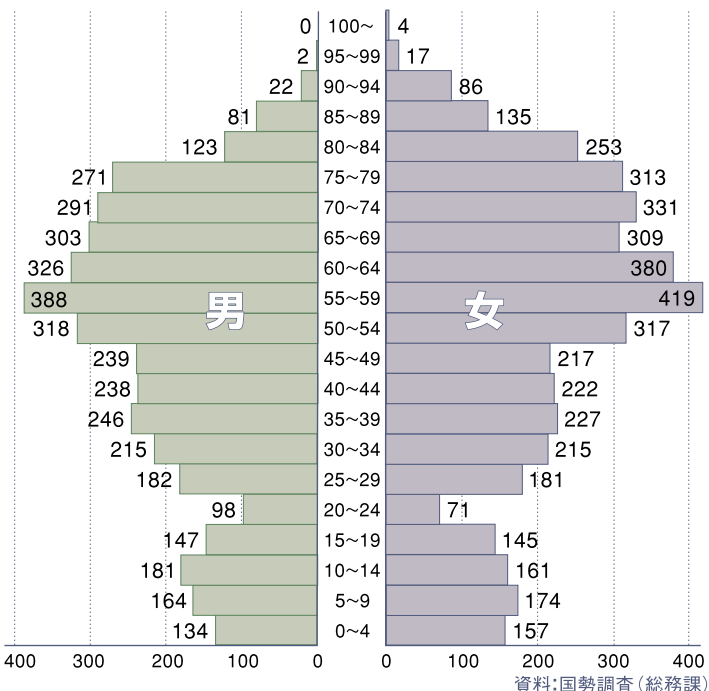
## ● 地目別面積 単位:千m<sup>2</sup>(%)



資料:平成19年度概要調査(窓口税務課)

## ● 5歳階級別人口

平成17年10月1日現在 単位:人



資料:国勢調査(総務課)

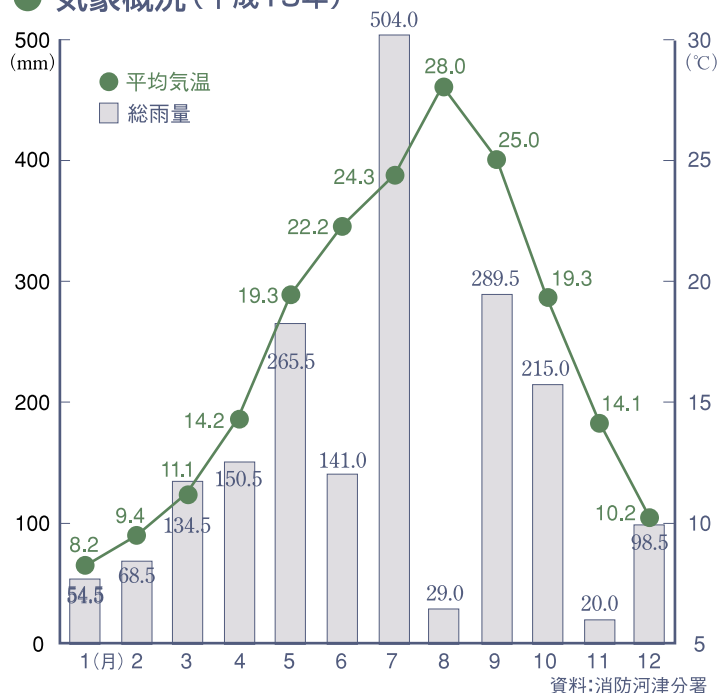
## ● 気象概況

※晴天・曇天の区分なし

| 年     | 平均気温<br>(℃) | 総降水量<br>(mm) | 気象日数 |     |
|-------|-------------|--------------|------|-----|
|       |             |              | 晴・曇天 | 降雨  |
| 平成15年 | 16.6        | 2,228.5      | 227  | 139 |
| 平成16年 | 17.0        | 1,939.5      | 239  | 126 |
| 平成17年 | 16.8        | 1,824.0      | 251  | 114 |
| 平成18年 | 16.5        | 2,258.0      | 235  | 130 |
| 平成19年 | 17.1        | 1,970.5      | 244  | 122 |

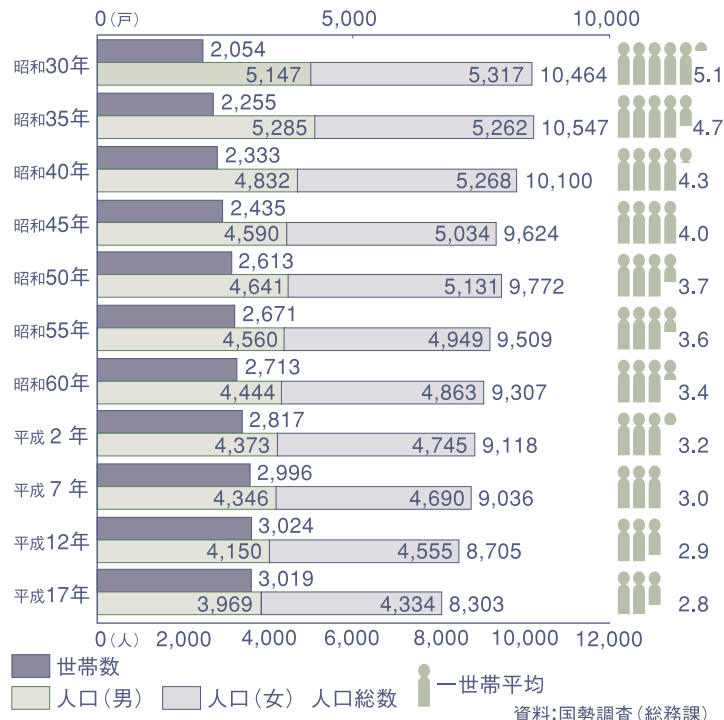
資料:消防河津分署

## ● 気象概況(平成19年)



資料:消防河津分署

## ● 世帯・人口の推移



資料:国勢調査(総務課)



● 消防の現状（河津分署）

平成20年4月1日現在

| 区分   | 分団数 | 署員数 | 指令車 | ポンプ車 | 積載車 | 可搬ポンプ | 消火栓 | 防火水槽 | 救急車 |
|------|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|
| 河津分署 | —   | 12  | 1   | 1    | —   | 1     | —   | —    | 1   |
| 消防団  | 10  | 285 | 1   | 8    | 4   | 8     | 118 | 49   | —   |

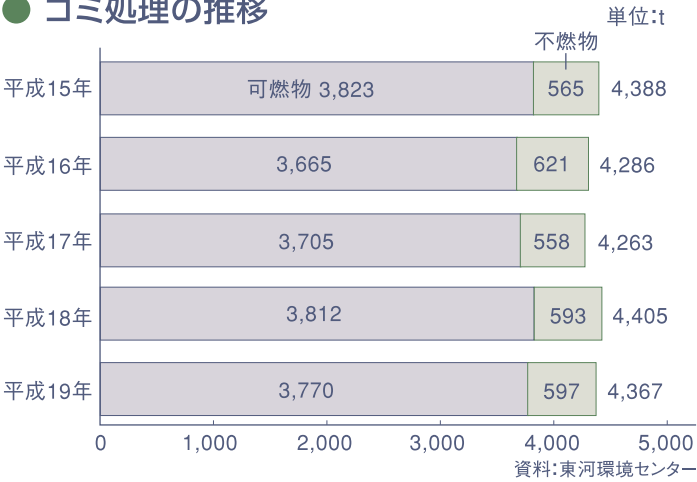
資料：総務課

● 救急出動の推移

| 年     | 区分 | 出動件数 | 収容人員 |     |     |
|-------|----|------|------|-----|-----|
|       |    |      | 男    | 女   | 合計  |
| 平成15年 |    | 415  | 233  | 180 | 413 |
| 平成16年 |    | 493  | 251  | 233 | 484 |
| 平成17年 |    | 505  | 266  | 219 | 485 |
| 平成18年 |    | 485  | 262  | 213 | 475 |
| 平成19年 |    | 492  | 255  | 225 | 480 |

資料：総務課

● ゴミ処理の推移



● 国県町道の状況

| 区分  | 路線数 | 実延長 (m) | 面積 (㎡)  | 幅員延長 (m) |            |        | 舗装延長 (m) |         | 改良済延長 (m) |         |
|-----|-----|---------|---------|----------|------------|--------|----------|---------|-----------|---------|
|     |     |         |         | 3.5未満    | 3.5未満5.5未満 | 5.5以上  |          | 舗装率 (%) |           | 改良率 (%) |
| 国県道 | 4   | 41,900  | 708,951 | 2,555    | 8,675      | 30,670 | 39,119   | 93.36   | 34,009    | 81.17   |
| 町道  | 885 | 238,825 | 756,104 | 174,653  | 46,194     | 17,978 | 133,659  | 55.97   | 54,945    | 23.01   |

資料：建設課

● 農道・林道の状況

平成20年3月31日現在

| 区分 | 路線数 | 実延長 (m) | 幅員延長 (m) |            |       |
|----|-----|---------|----------|------------|-------|
|    |     |         | 4.0未満    | 4.0未満5.5未満 | 5.5以上 |
| 農道 | 15  | 8,370   | 6,481    | 2,072      | 1,630 |
| 林道 | 5   | 6,239   | 3,963    | 2,276      |       |

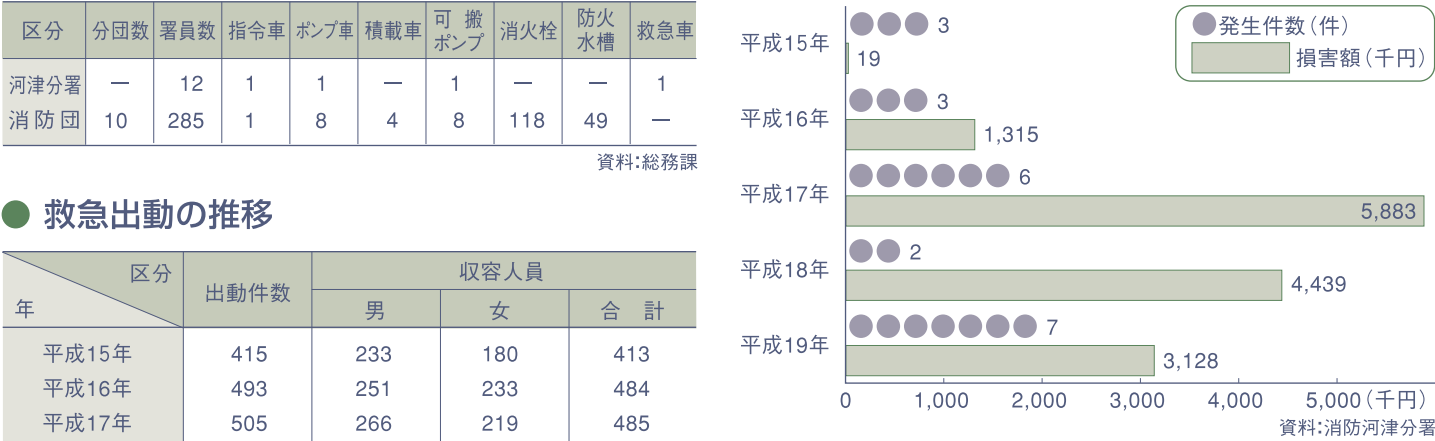
資料：建設課

● 町営水道供給量の推移

| 区分    | 計画給水人口 (人) | 行政区域内人口 (人) | 給水人口 (人) | 公称施設能力 (m³/日) | 年間給水量 (千m³) | 1日最大給水量 (m³) | 1日平均給水量 (m³) |
|-------|------------|-------------|----------|---------------|-------------|--------------|--------------|
| 年     |            |             |          |               |             |              |              |
| 平成15年 | 8,200      | 8,589       | 7,897    | 9,430         | 1,380       | 7,373        | 3,779        |
| 平成16年 | 8,200      | 8,533       | 7,845    | 9,430         | 1,342       | 7,462        | 3,677        |
| 平成17年 | 8,200      | 8,456       | 7,769    | 9,430         | 1,351       | 7,456        | 3,700        |
| 平成18年 | 8,200      | 8,356       | 7,678    | 9,430         | 1,321       | 6,920        | 3,620        |
| 平成19年 | 8,200      | 8,298       | 7,626    | 9,430         | 1,355       | 7,264        | 3,702        |

資料：河津町水道事業会計決算書

● 火災発生件数・損害額の推移



● 河川の状況

平成20年4月現在

| 水系   | 名称    | 流路延長 m | 行政区延長 m | 川幅 m | 流量 m³/sec | 流域面積 m²    |
|------|-------|--------|---------|------|-----------|------------|
| 河津川  | 河津川   | 14,000 | 14,000  | 45.0 | 1,836     | 79,718,700 |
|      | 谷津川   | 2,700  | 2,700   | 5.0  | 262       | 3,549,000  |
|      | 大鍋川   | 6,200  | 6,200   | 10.0 | 656       | 11,497,000 |
|      | 鍛冶屋沢川 | 1,000  | 1,000   | 3.0  | 102       | 1,678,000  |
|      | 沢田川   | 1,300  | 1,300   | 3.5  | 91        | 2,467,000  |
|      | 佐々野川  | 8,300  | 8,300   | 8.0  | 409       | 11,198,000 |
|      | 小鍋川   | 2,300  | 2,300   | 6.5  | 45        | 2,430,000  |
|      | 奥原川   | 4,500  | 4,500   | 5.5  | 133       | 8,399,000  |
|      | 荻ノ入川  | 6,300  | 6,300   | 11.5 | 822       | 8,184,000  |
|      | 山田川   | 400    | 400     | 1.4  | 29        | 887,000    |
| 単独   | 田中川   | 700    | 700     | 1.4  | 12        | 1,225,000  |
|      | 見高川   | 1,600  | 1,600   | 3.5  | 84        | 1,225,000  |
|      | 縄地川   | 2,300  | 2,300   | 3.5  | 98        | 2,332,000  |
|      | 田尻川   | 4,200  | 4,200   | 10.6 | 100       | 7,200,000  |
|      | 太田川   | 400    | 400     | 1.2  | 40        | 356,000    |
| 稲生沢川 | 小縄地川  | 1,700  | 1,700   | 2.4  | 39        | 1,556,000  |
|      | 稲生沢川  | 4,200  | 4,200   | 9.2  | 70        | 4,300,000  |

資料：建設課

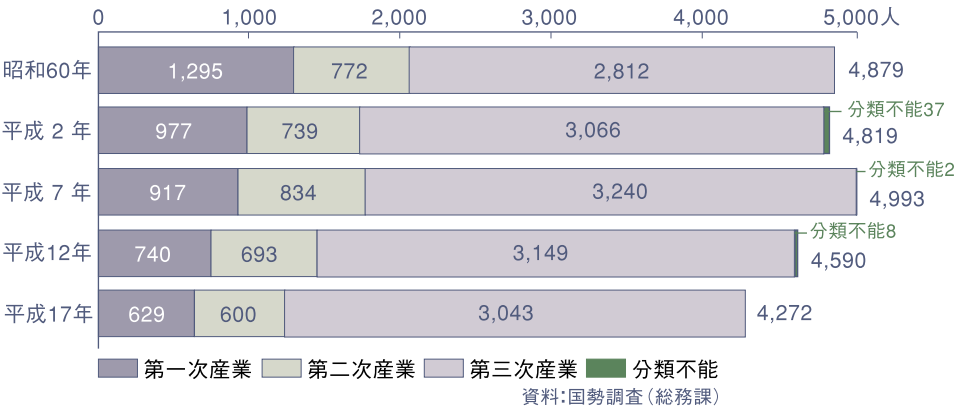
● し尿処理量の推移





● 産業大分類別就業者数の推移

| 区分    | 年次 | 昭和60年 | 平成2年  | 平成7年  | 平成12年 | 平成17年 |
|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 第一次産業 |    | 1,295 | 977   | 917   | 740   | 629   |
| 第二次産業 |    | 772   | 739   | 834   | 693   | 600   |
| 第三次産業 |    | 2,812 | 3,066 | 3,240 | 3,149 | 3,043 |
| 分類不能  |    | 0     | 37    | 2     | 8     | 0     |
| 総数    |    | 4,879 | 4,819 | 4,993 | 4,590 | 4,272 |



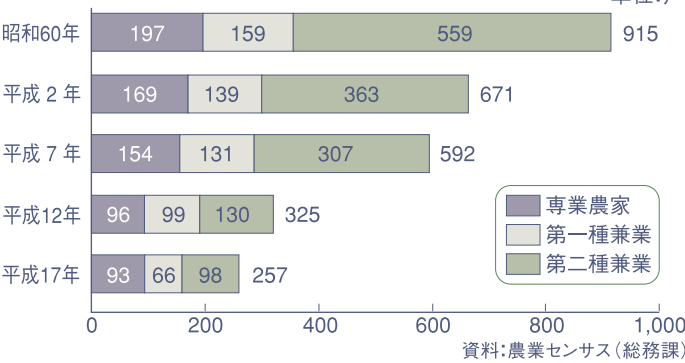
● 産業大分類別就業者数内訳

(平成17年 国勢調査から分類変更)

| 区分    | 年次            | 平成17年 |
|-------|---------------|-------|
| 第一次産業 | 計             | 629   |
|       | 農業            | 574   |
|       | 林業            | 14    |
| 第二次産業 | 計             | 600   |
|       | 鉱業            | 0     |
|       | 建設業           | 470   |
| 第三次産業 | 計             | 3,043 |
|       | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 19    |
|       | 情報通信業         | 12    |
|       | 運輸業           | 167   |
|       | 卸売・小売業        | 765   |
|       | 金融・保険業        | 44    |
|       | 不動産業          | 36    |
|       | 飲食店・宿泊業       | 787   |
|       | 医療、福祉         | 369   |
|       | 教育、学習支援業      | 149   |
|       | 複合サービス業       | 100   |
|       | サービス業務        | 465   |
|       | 公務            | 130   |
|       | 分類不能          | 0     |
|       | 総数            | 4,272 |

資料:国勢調査(総務課)

● 専・兼業別農家数の推移

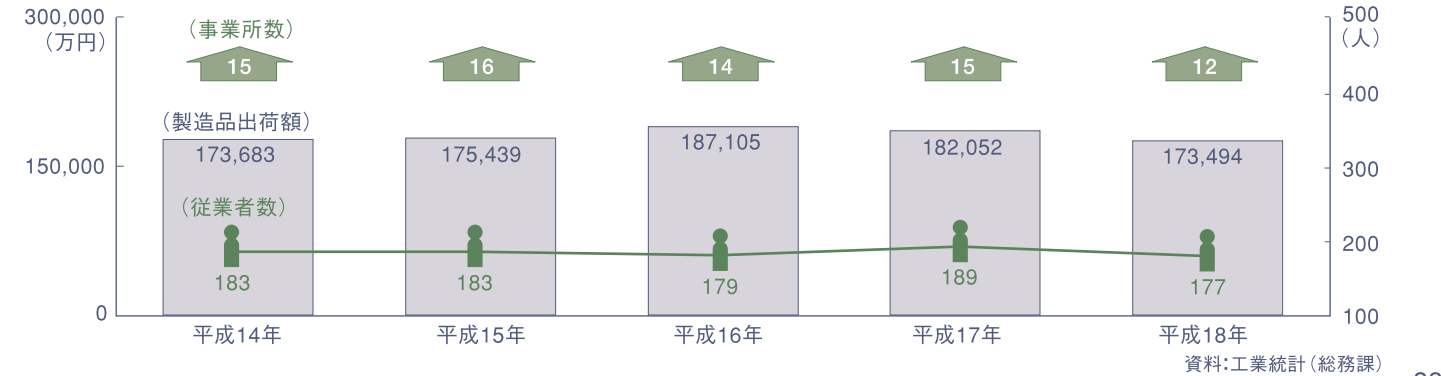


● 農業粗生産額の推移

| 区分<br>年 | 総額  | 計   | 耕 種 |       |     |    |    |    |       |     | 畜産 | 加工農産物 |
|---------|-----|-----|-----|-------|-----|----|----|----|-------|-----|----|-------|
|         |     |     | 米   | 麦・麦雑穀 | いも類 | 野菜 | 果実 | 花卉 | 工芸農作物 | その他 |    |       |
| 平成14年   | 130 | 120 | 4   | 0     | 1   | 37 | 32 | 43 | 1     | 2   | 11 | 0     |
| 平成15年   | 151 | 138 | 4   | 0     | 1   | 38 | 33 | 59 | 0     | 3   | 12 | 0     |
| 平成16年   | 138 | 128 | 3   | 0     | 1   | 36 | 34 | 51 | 0     | 3   | 10 | 0     |
| 平成17年   | 132 | 123 | 3   | 0     | 1   | 39 | 32 | 46 | 0     | 2   | 10 | 0     |
| 平成18年   | 132 | 126 | 3   | 0     | 1   | 41 | 34 | 45 | 0     | 2   | 7  | 0     |

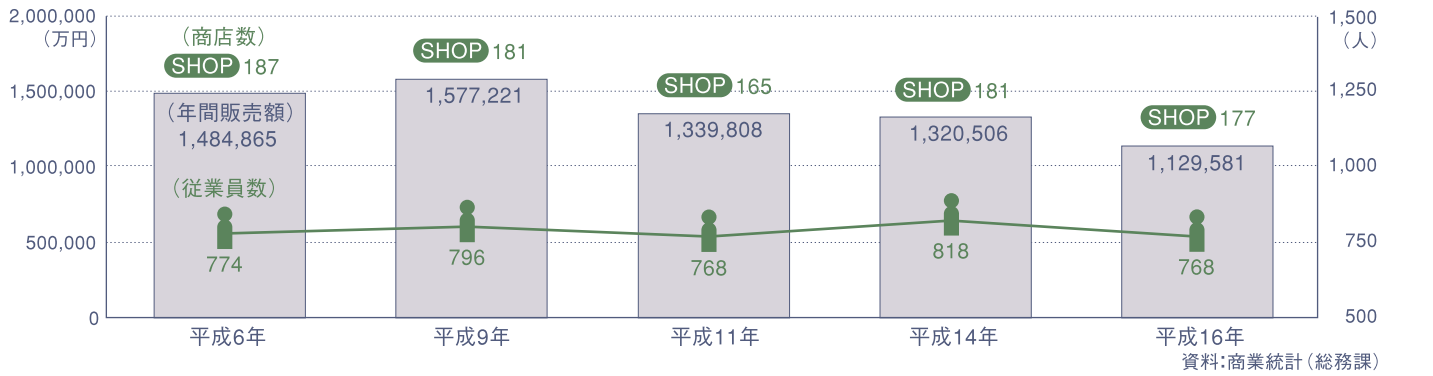
※単位未満四捨五入のため合計と内訳が一致しない。 資料:農林水産統計(産業振興課)

● 工業の推移 ※従業員4人以上の事業所





● 卸売・小売業の商店数・従業者数・年間販売額の推移



● 温泉の実態

平成19年4月1日現在

| 温泉地                                                                      | 総源泉数 | 温泉数       |     |     |       | 総湧出湯量<br>(l／分) | 平均湯量<br>(l／分) | 平均温度<br>(℃) |
|--------------------------------------------------------------------------|------|-----------|-----|-----|-------|----------------|---------------|-------------|
|                                                                          |      | 自然湧出・掘削自噴 |     | 機械湯 | 不利用枯湯 |                |               |             |
|                                                                          |      | 利 用       | 不利用 |     |       |                |               |             |
| 見 高<br>谷 津<br>(含浜・笹原)<br>峰<br>(含田中・沢田・逆川)<br>湯ヶ野<br>(含浅場・下佐ヶ野・小鍋)<br>梨 本 | 3    | —         | —   | —   | 3     | —              | —             | —           |
|                                                                          | 57   | 2         | 1   | 16  | 38    | 1456.2         | 91.01         | 70.25       |
|                                                                          | 43   | 2         | 1   | 14  | 26    | 1740.0         | 133.85        | 83.12       |
|                                                                          | 22   | 2         | 2   | 9   | 9     | 601.2          | 75.15         | 42.03       |
|                                                                          | 16   | 0         | 4   | 9   | 3     | 1306.9         | 145.21        | 45.98       |
| 計                                                                        | 141  | 6         | 8   | 48  | 79    | 5104.3         | 110.96        | 65.1        |

資料: 「温泉実態調査」 (建設課)

● 宿泊客数・観光レクリエーション客数の推移

単位: 人

| 区分 \ 年      | 平成15年     | 平成16年     | 平成17年     | 平成18年     | 平成19年     |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 宿 泊 客       | 335,162   | 245,671   | 177,291   | 229,578   | 226,770   |
| 観光レクリエーション客 | 1,757,263 | 1,495,515 | 1,580,608 | 1,613,195 | 1,609,147 |

※1 宿泊客数は入湯税を基礎に推定値を算出し、県へ報告した数字  
※2 観光レクリエーション客数 (観光施設+スポーツレクリエーション施設+イベント交流客数) 年間1千人以上が対象  
資料: 「静岡県観光交流の動向」 (産業振興課)

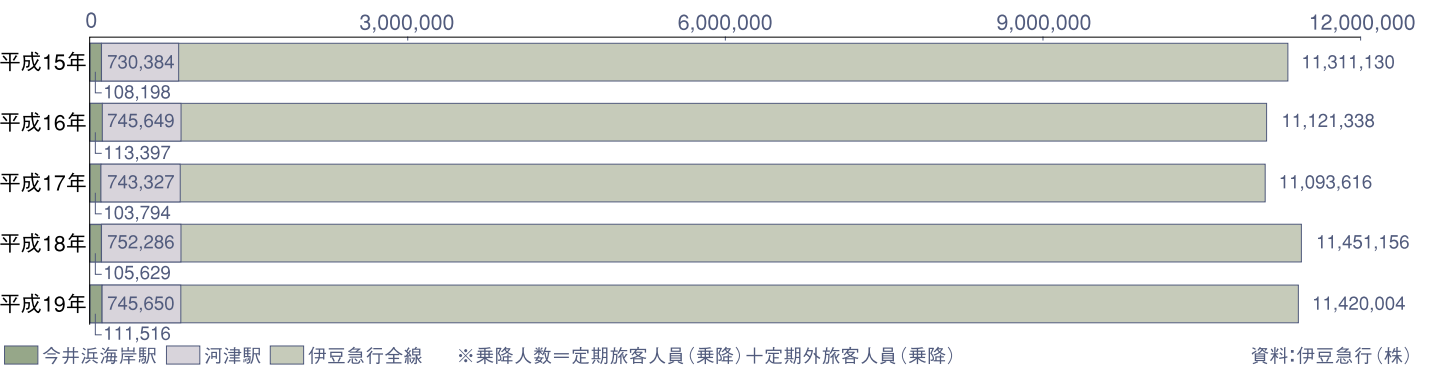
● 入湯税及び入湯客数の推移

単位: 円、人

| 区分 \ 年  | 平成14年      | 平成15年      | 平成16年      | 平成17年      | 平成18年      |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 入 湯 税   | 31,860,150 | 29,613,780 | 26,133,030 | 26,819,650 | 28,383,750 |
| 入 湯 客 数 | 232,219    | 210,195    | 186,263    | 190,187    | 199,674    |

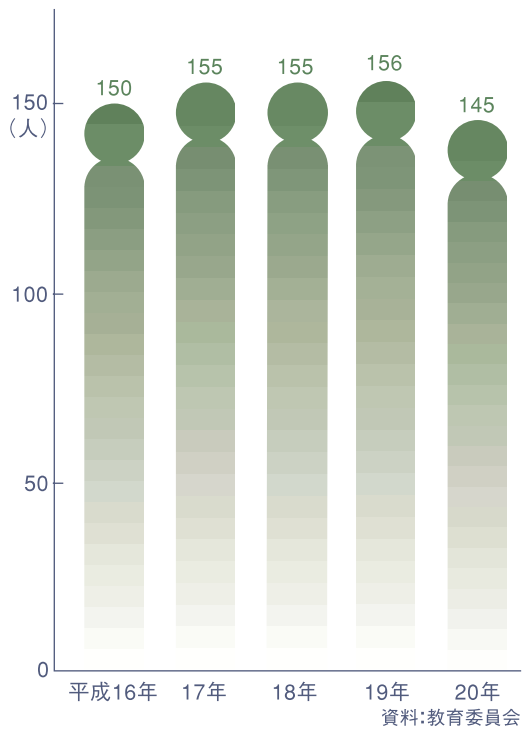
※入湯客数=調定人数+課税免除者数  
資料: 窓口税務課

● 伊豆急行線各駅乗降人員 (定期券分含む)

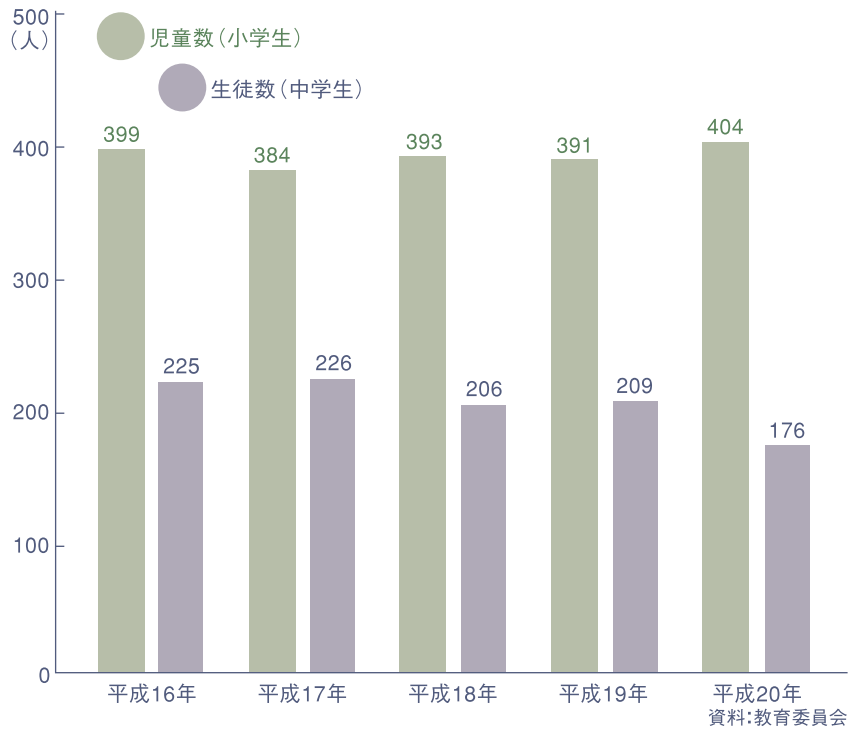




● 園児数の推移（幼稚園）



● 児童・生徒数の推移



● 指定文化財

| 番  | 指定別 | 種 別        | 名 称        | 員数  | 指定年月日       | 所有者・管理者      | 所在地            | 備 考           |
|----|-----|------------|------------|-----|-------------|--------------|----------------|---------------|
| 1  | 国   | 天然記念物      | 新町の大ソテツ    | 1   | 昭和11年9月3日   | 正木源七郎        | 下峰             | 樹齢1000年以上か    |
| 2  | 〃   | 〃          | 杉録別命神社の大クス | 1   | 昭和11年12月16日 | 来宮神社         | 田中             | 通称「来宮様の大楠」    |
| 3  | 〃   | 〃          | ナチンダ       | 1   | 昭和28年3月31日  | 天城荘          | 梨本大滝           | ナチンダ北限自生地     |
| 4  | 〃   | 重要文化財      | 天城山隧道      | 1   | 平成13年6月15日  | 静岡県          | 梨本             |               |
| 5  | 県   | 有形文化財(工芸)  | 山神鰐口       | 1   | 昭和31年10月17日 | 縄地区          | 縄地             | 慶長年間作 縄地公民館保管 |
| 6  | 〃   | 〃          | 子安明神鰐口     | 1   | 〃           | 〃            | 〃              | 〃             |
| 7  | 〃   | 〃          | 普門院の笈      | 1   | 〃           | 普門院          | 逆川             | 禅寺の木製背負い具     |
| 8  | 〃   | 有形文化財(彫刻)  | 十一面観音立像    | 1   | 〃           | 下峰区          | 下峰             | 善光庵 檜材一木造     |
| 9  | 〃   | 〃          | 木造薬師如来坐像他  | 11軀 | 昭和59年3月23日  | 谷津区          | 谷津             | 南禅寺堂の仏像群      |
| 10 | 〃   | 無形文化財(芸能)  | 子安神社神楽     | 舞8  | 昭和60年11月29日 | 大鍋子安神社神楽保存会  | 大鍋             | 毎年10月15日公開奉納  |
| 11 | 町   | 有形文化財(彫刻)  | 南禅寺堂仏像群    | 11軀 | 昭和45年11月11日 | 谷津区          | 谷津             |               |
| 12 | 〃   | 無形文化財(芸能)  | 河津八幡三番叟    | 1   | 〃           | 河津八幡神社三番叟保存会 | 〃              | 現在休止中         |
| 13 | 〃   | 有形文化財(遺跡)  | 煉瓦の洞の遺跡    | 1   | 昭和55年9月5日   | 河津町教育委員会     | 梨本国有林172林班に小班内 | 窯跡3カ所 白臼1個    |
| 14 | 〃   | 有形文化財(建造物) | 関戸吉信の墓     | 1   | 平成元年6月6日    | 稲葉一布         | 梨本             | 室町時代末期の宝篋印塔   |
| 15 | 〃   | 無形民族文化財    | 見高浜の精霊送り行事 | 1   | 〃           | 見高区          | 見高             | むぎわら舟で海に流す    |
| 16 | 〃   | 有形文化財(彫刻)  | 涅槃像群       | 28軀 | 平成5年6月7日    | 沢田区          | 沢田             | 涅槃堂の仏像群       |
| 17 | 〃   | 〃          | 薬師如来坐像     | 1   | 平成6年12月7日   | 湯ヶ野区         | 湯ヶ野            | 室町時代の仏像       |
| 18 | 〃   | 無形文化財(芸能)  | 見高神社三番叟    | 1   | 平成7年12月21日  | 見高三番叟保存会     | 見高浜            | 毎年10月23日公開奉納  |
| 19 | 〃   | 天然記念物      | 河津桜の原木     | 1   | 平成17年2月2日   | 飯田典延         | 田中             |               |

資料:教育委員会

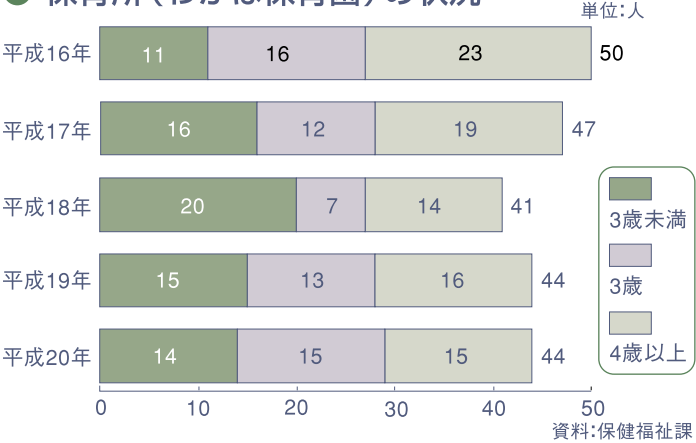
● 遺 跡

| 番 | 名 称           | 時 代   | 所在地    | 出土品・遺構                          |
|---|---------------|-------|--------|---------------------------------|
| 1 | 段間(だんま)遺跡     | 縄文    | 見高浜    | 土器・石器・石製品・竪穴住居址9軒、敷石住居址2軒、炉址10基 |
| 2 | 風越(かざこし)遺跡    | 〃     | 見高入谷   | 土器・石錘・黒曜石片                      |
| 3 | 姫宮遺跡          | 縄文～奈良 | 笹原     | 土器・(祭祀用も含む)住居・墓                 |
| 4 | 俎平(まないたつばら)遺跡 | 縄文    | 菖蒲沢    | 石製品・土器・石器                       |
| 5 | 長坂遺跡          | 〃     | 下佐ヶ野長坂 | 〃                               |
| 6 | 波来横穴(はらいおうけつ) | 弥生～古墳 | 谷津波来   | 土器・鉄製品・石製品・海蝕洞窟                 |
| 7 | 春蔵(はんのくら)遺跡   | 縄文～平安 | 峰春蔵上・下 | 土器(縄文～平安)住居・墨書土器                |
| 8 | 河津城跡          | 戦国    | 笹原大日山  | 常滑焼の甕・明の輸入陶磁器・茶臼                |

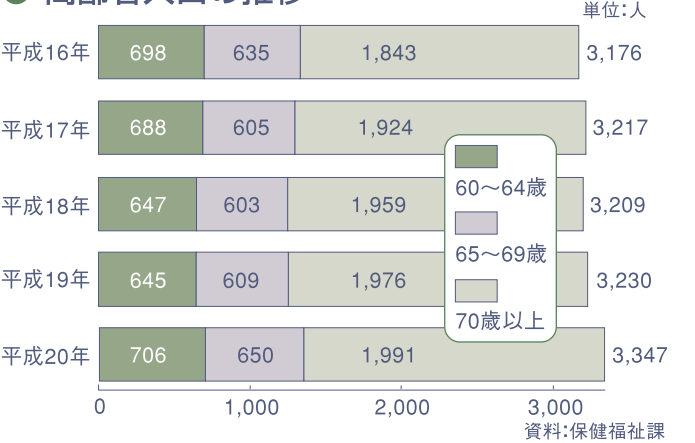
※その他未調査遺跡(城址・経塚を含む) 56

資料:教育委員会

● 保育所（わかば保育園）の状況



● 高齢者人口の推移



● 各種検診状況の推移

単位 対象者・受診者:人、受診率:%

| 年度    | 区分 | 基本健康診査 |       |      | 胃がん検診 |     |      | 肺がん検診 |       |      | 大腸がん検診 |       |      | 子宮がん検診 |     |      | 乳がん検診 |     |      |
|-------|----|--------|-------|------|-------|-----|------|-------|-------|------|--------|-------|------|--------|-----|------|-------|-----|------|
|       |    | 対象者    | 受診者   | 受診率  | 対象者   | 受診者 | 受診率  | 対象者   | 受診者   | 受診率  | 対象者    | 受診者   | 受診率  | 対象者    | 受診者 | 受診率  | 対象者   | 受診者 | 受診率  |
| 平成15年 |    | 2,407  | 1,303 | 54.1 | 2,284 | 947 | 41.5 | 3,381 | 1,718 | 50.8 | 2,330  | 1,247 | 53.5 | 1,293  | 524 | 40.5 | 1,310 | 508 | 38.8 |
| 16年   |    | 2,812  | 1,309 | 46.6 | 2,312 | 873 | 37.7 | 4,448 | 1,911 | 43.0 | 2,398  | 1,254 | 52.3 | 1,722  | 340 | 39.5 | 1,160 | 343 | 59.1 |
| 17年   |    | 2,820  | 1,318 | 46.7 | 2,350 | 952 | 40.5 | 2,727 | 1,780 | 65.3 | 2,400  | 1,283 | 53.5 | 1,722  | 327 | 19.0 | 1,160 | 314 | 27.1 |
| 18年   |    | 2,830  | 1,351 | 47.7 | 2,094 | 937 | 44.7 | 3,081 | 1,760 | 57.1 | 2,359  | 1,293 | 54.8 | 1,611  | 338 | 21.0 | 1,056 | 323 | 30.6 |
| 19年   |    | 2,840  | 1,332 | 46.9 | 2,016 | 958 | 47.5 | 2,944 | 1,710 | 58.1 | 2,290  | 1,295 | 56.6 | 1,024  | 338 | 33.0 | 1,056 | 308 | 29.2 |

資料:保健福祉課

● 国民年金加入状況の推移

単位:人

| 年度    | 区分 | 被保険者  | うち不在被保険者 | 第1号強制加入 |     |       | 第1号任意加入 |   |    | 第3号 |     |     |
|-------|----|-------|----------|---------|-----|-------|---------|---|----|-----|-----|-----|
|       |    |       |          | 男       | 女   | 計     | 男       | 女 | 計  | 男   | 女   | 計   |
| 平成15年 |    | 2,208 | 22       | 885     | 838 | 1,723 | 3       | 4 | 7  | 4   | 474 | 478 |
| 16年   |    | 2,119 | 23       | 841     | 800 | 1,641 | 1       | 2 | 3  | 4   | 471 | 475 |
| 17年   |    | 2,105 | 24       | 835     | 800 | 1,635 | 1       | 6 | 7  | 6   | 457 | 463 |
| 18年   |    | 2,076 | 43       | 828     | 781 | 1,609 | 3       | 4 | 7  | 7   | 453 | 460 |
| 19年   |    | 1,923 | 15       | 757     | 702 | 1,459 | 2       | 9 | 11 | 7   | 446 | 453 |

資料:窓口税務課

● 高齢者医療費の推移

| 年度    | 区分 | 受給対象者(人) | 件数(件)  | 市町村負担額(千円) | 一人当たり(円) | 一件当たり(円) |
|-------|----|----------|--------|------------|----------|----------|
| 平成15年 |    | 1,697    | 36,769 | 900,344    | 530,550  | 24,486   |
| 16年   |    | 1,619    | 35,398 | 971,330    | 599,957  | 27,440   |
| 17年   |    | 1,530    | 34,548 | 993,026    | 649,037  | 28,743   |
| 18年   |    | 1,454    | 33,694 | 909,827    | 625,741  | 27,003   |
| 19年   |    | 1,421    | 33,056 | 869,589    | 611,956  | 26,307   |

資料:窓口税務課

● 国民年金受給状況の推移

| 年度    | 区分 | 老齢福祉年金 |        | 老齢基礎年金等 |         | 遺族基礎年金 |        | 障害基礎年金等 |        | 計     |         |
|-------|----|--------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|-------|---------|
|       |    | 件数     | 金額(万円) | 件数      | 金額(万円)  | 件数     | 金額(万円) | 件数      | 金額(万円) | 件数    | 金額(万円)  |
| 平成15年 |    | 6      | 245    | 2,241   | 135,614 | 48     | 3,213  | 145     | 13,328 | 2,440 | 152,400 |
| 16年   |    | 4      | 162    | 2,279   | 139,769 | 46     | 3,056  | 140     | 12,803 | 2,469 | 155,790 |
| 17年   |    | 4      | 162    | 2,333   | 145,003 | 38     | 2,441  | 137     | 12,545 | 2,512 | 160,151 |
| 18年   |    | 1      | 40     | 2,376   | 148,994 | 39     | 2,593  | 128     | 11,652 | 2,544 | 163,279 |
| 19年   |    | 1      | 40     | 2,445   | 169,159 | 39     | 2,501  | 127     | 11,511 | 2,612 | 183,211 |

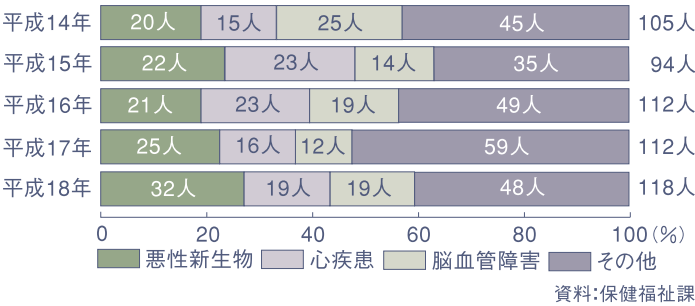
資料:窓口税務課

● 国民健康保険加入・給付状況の推移

| 年度    | 区分 | 被保険者世帯数(世帯) | 被保険者数(人) | 医療給付費(一般十退職) |         |          |          |
|-------|----|-------------|----------|--------------|---------|----------|----------|
|       |    |             |          | 件数(件)        | 金額(千円)  | 1人当たり(円) | 1件当たり(円) |
| 平成15年 |    | 2,221       | 4,621    | 34,390       | 563,236 | 121,887  | 16,378   |
| 16年   |    | 2,246       | 4,573    | 35,877       | 587,370 | 128,443  | 16,372   |
| 17年   |    | 2,250       | 4,535    | 37,994       | 643,576 | 141,913  | 16,939   |
| 18年   |    | 2,232       | 4,467    | 40,620       | 650,714 | 145,672  | 16,020   |
| 19年   |    | 2,236       | 4,384    | 42,003       | 708,682 | 161,652  | 16,873   |

資料:窓口税務課

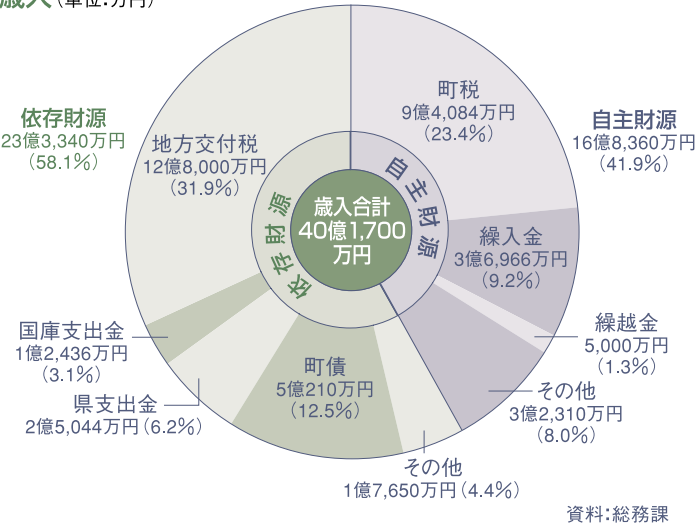
● 死因別割合の推移



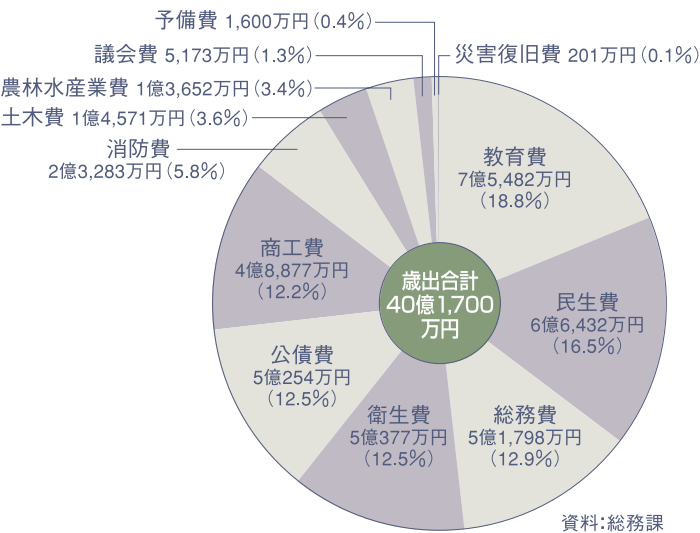


● 平成20年度一般会計当初予算

歳入 (単位:万円)



歳出 (単位:万円)



● 財政の推移 (一般会計決算)

| 区分<br>年度 | 歳入A<br>(千円) | 対前年度伸率<br>(%) | 歳出B<br>(千円) | 対前年度伸率<br>(%) | A-B<br>(千円) |
|----------|-------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| 平成15年    | 3,951,788   | △22.4         | 3,743,208   | △23.2         | 208,580     |
| 平成16年    | 4,218,705   | 6.8           | 3,966,345   | 6.0           | 252,360     |
| 平成17年    | 4,136,361   | △2.0          | 3,869,874   | △2.4          | 266,487     |
| 平成18年    | 3,877,940   | △6.2          | 3,609,925   | △6.7          | 268,015     |
| 平成19年    | 3,874,406   | △0.1          | 3,648,119   | 1.1           | 226,287     |

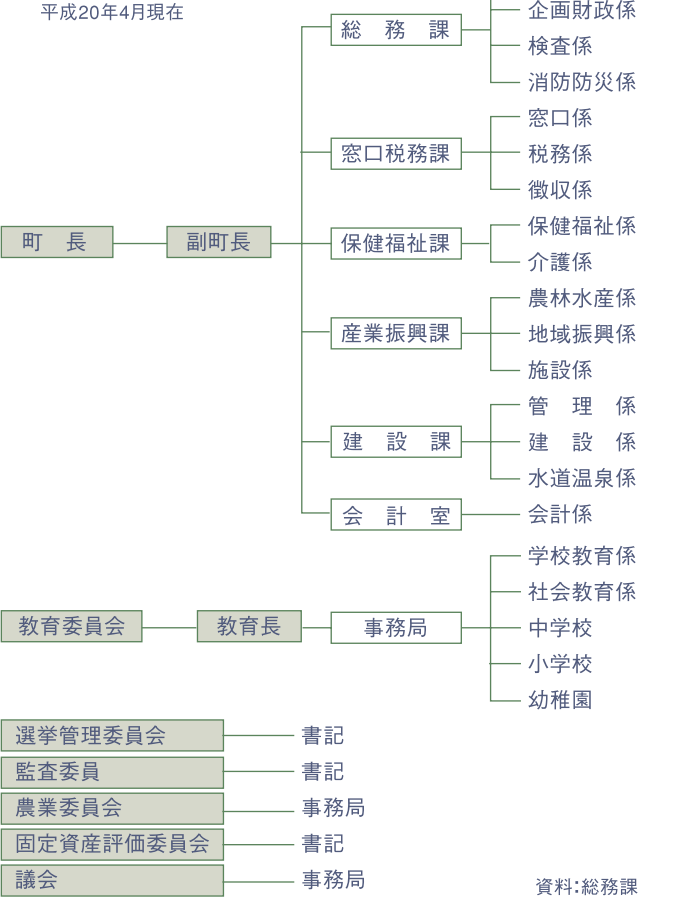
資料:総務課

● 平成20年度会計別予算額

|                |            |
|----------------|------------|
| 一般会計           | 40億1,700万円 |
| 河津駅前広場整備事業特別会計 | 503万円      |
| 土地取得特別会計       | 51万円       |
| 普通会計の合計        | 40億2,254万円 |
| 水道事業会計         | 2億5,368万円  |
| 温泉事業会計         | 1億3,047万円  |
| 国民宿舎運営事業会計     | 863万円      |
| 公営企業の合計        | 3億9,278万円  |
| 国民健康保険特別会計     | 12億1,080万円 |
| 老人保健特別会計       | 1億2,479万円  |
| 介護保険特別会計       | 6億5,300万円  |
| 後期高齢者医療特別会計    | 9,115万円    |
| その他の特別会計の合計    | 20億7,974万円 |
| 総 額            | 64億9,506万円 |

資料:総務課

● 行政機構図



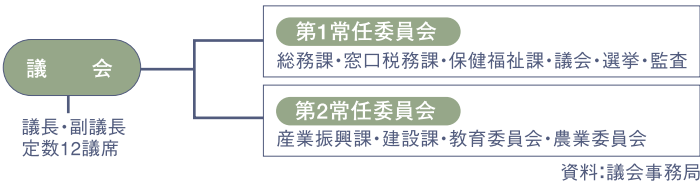
● 議会議員名

平成20年4月1日現在

| 議席番号 | 氏 名    | 所属会派 | 所属委員会 | 備 考   |
|------|--------|------|-------|-------|
| 1    | 吉田 重好  | 無所属  | 第1常任  | 副委員長  |
| 2    | 稲葉 静   | 無所属  | 第2常任  | 副委員長  |
| 3    | 宮崎 啓次  | 無所属  | 第1常任  | 副 議 長 |
| 4    | 萩原 清男  | 無所属  | 第1常任  | 委 員 長 |
| 5    | 山田 勇   | 無所属  | 第2常任  | 委 員 長 |
| 6    | 相馬 宏行  | 無所属  | 第1常任  |       |
| 7    | 土屋 桑太郎 | 無所属  | 第2常任  |       |
| 8    |        |      |       |       |
| 9    | 山本 和之  | 無所属  | 第1常任  |       |
| 10   | 中村 聡   | 無所属  | 第2常任  | 議 長   |
| 11   | 飯田 正臣  | 無所属  | 第2常任  |       |
| 12   | 臼井 市太郎 | 無所属  | 第1常任  |       |

資料:議会事務局

● 議会構成図



## 姉 妹 都 市

長野県

# 白馬村



白馬村村長  
太田 紘熙

白馬村は、長野県の北西部に位置しており、南北に16・8km、東西に15・7km広がっています。白馬岳、杓子岳、白馬槍ヶ岳（白馬三山といいますが）、五竜岳をはじめとする北アルプス白馬連峰が眼前に迫り、その麓には、豊かな田園風景が広がっています。当村は、恵まれた自然資源を活かした観光が主産業です。急峻な山岳美をみせる北アルプス白馬連峰や個性豊かな7つのスキー場、村内に湧き出る効能豊かな温泉、歴史ある千国街道など、目的は様々ですが、多くの観光客が四季を通じて当村を訪れます。交通網は、1998年長野冬季オリンピックを契機に飛躍的に整備されました。また、お客様を迎えし、おもてなしする施設サービスも飛躍的に向上しました。姉妹都市河津町のみなさんが当村を訪れてくださることを心待ちにしております。白馬村の自然、施設、サービスがみなさんを温かくお迎えします。



北アルプスが迫る  
白馬村



スキーや海で子供たちは楽しく交流しました。（姉妹都市交流事業から）



## 災害時相互応援協定締結都市

# 東京都 渋谷区

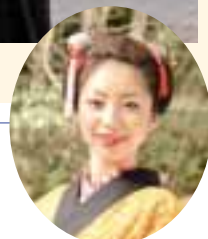
平成16年11月、地震など大規模災害で被災した場合に備え、東京都渋谷区と災害時相互応援協定を締結しました。この協定は、大規模地震等により災害が発生した場合に、両自治体が職員の派遣や食糧、日用品、その他必要な資材の提供、被災者の受け入れなど、幅広い応援対策及び応急復旧対策を実施するほか、防災訓練時の応急救援物資等の搬送など相互参加や今後の災害時の実効性を高めるための対応を行っていきます。



渋谷の街頭を踊り子たちが訪れました

Special Thanks.

表紙に登場していただいた方々：塩田 心和璃さん、相馬 良則さん、仲 里司さん、橋本 久子さん、東 虹樹さん（50音順）。そして、20ページに踊り子役で登場いただきました、第20代「ミス伊豆の踊り子」渡邊貴子さん。ありがとうございました。







写真のバラは「伊豆の踊子」  
*Dancing Girl of Izu*  
2001. メイアン(フランス) 作

## 河津町勢要覧2008 (町制施行50周年)

発行: 静岡県河津町

〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212番地の2

電話 0558-34-1111 (代表)

URL <http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/>

発行日: 平成20年9月

編集: 河津町総務課

制作: (株) ぎょうせい